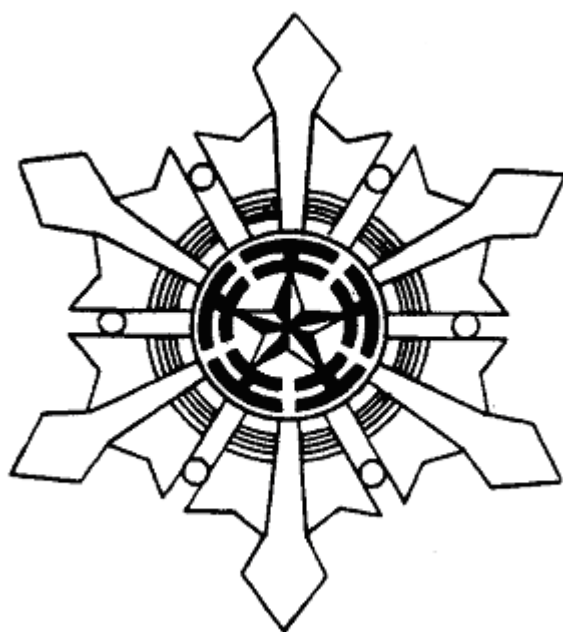


消防年報

令和2年版



江別市消防本部

市 章

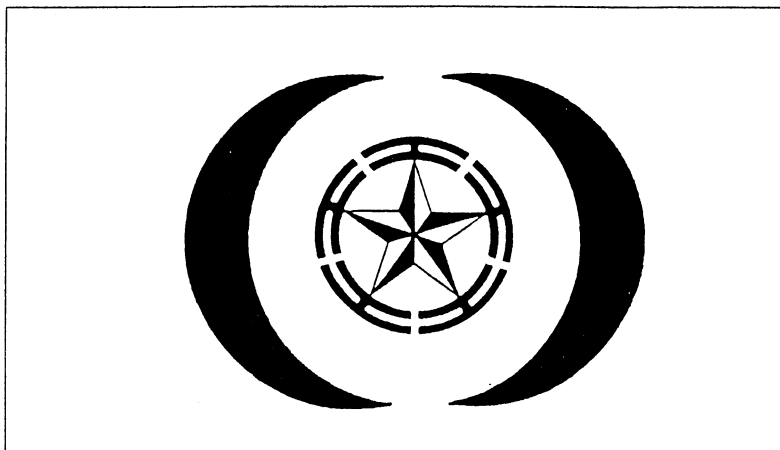


中央の星は、江別開拓の礎となった屯田兵をあらわし、これを囲む円は月をかたちどり、朝に星をいただき出て、夕べに月を仰いで帰る、勤労の精神を意味しています。

また、周囲のエは江別の頭文字であり、市民の一致協和をあらわしています。

市 章 制 定 大正13年10月24日

市 旗



市の紋章は、先人の伝統を意味し、これを囲む模様は、市民を意味するとともに、紋章を囲む円の広がり、未来に向かって飛躍する無限性をあらわしています。

市 旗 制 定 昭和43年 5 月25日

は し が き

この年報は、令和２年中の江別市の災害、救急統計に基づく災害活動と令和３年１月１日現在の消防諸般の現勢を明らかにし、将来の消防体制の強化と火災予防活動上の参考として収録したものであります。

令和３年１月

江別市消防本部

目 次

*総 務 編

市勢概要	1
署所配置図	2
消防庁舎の概要	2
消防現勢総括表	3
令和2年度経常・臨時別分析表	4
令和2年度当初消防費予算（歳出）	4
消防機構図	5
消防職員配置状況	6
消防職員階級別年齢状況	6
消防職員階級別勤続年数状況	6
消防吏員各種資格取得状況	7
消防職員教育状況	8

*予 防 編

危険物施設状況	9
危険物施設の許可・承認状況	9
建築物確認申請消防同意処理状況	10
政令対象物施設状況・防火管理者選任状況	11
階層別・業態別棟数表	12
各種届出状況	13
民間防火組織等状況	14
火災予防各種行事实施状況	15

*警 防 編

消防自動車等の現勢	16
消防水利設置状況	17
市街地・準市街地等における消防水利の設置状況	17
高機能消防指令センターシステム構成図	18

*災害等総括編

月別災害等受付状況	19
過去5か年災害受付状況	19
災害等出動状況	20
月別災害等出動状況	20
過去5か年災害等発生及び出動状況	20
警戒等出動状況	21
地区別警戒等出動状況	21
過去5か年警戒等出動状況	21
救急支援出動状況	22
地区別救急支援出動状況	22
過去5か年救急支援等出動状況	22

北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況	23
航空隊応援要請状況	23

*火 災 編

火災発生状況	24
月別火災状況	25
月別火災出火数	26
出火原因別件数と火災損害額	26
過去5か年原因別火災発生状況	27
用途別火災原因調査	28
火災覚知別状況	29
曜日別・出火時間火災状況	29

*救 助 編

月別救助出動状況	30
過去5か年救助出動状況	30
地区別救助出動状況	31
発生場所別救助出動状況	31

*救 急 編

救急活動	32
月別救急出場状況	32
過去5か年救急出場状況	32
曜日別救急出場状況	33
時間別救急出場状況	33
地区別救急出場状況	34
高速自動車道救急出場状況	34
年齢別救急搬送人員調	35
年齢別傷病程度別搬送人員調	35
医療機関別傷病者搬送状況	35
救急隊員の行った応急処置件数	36
応急手当普及講習会の開催状況	37

*消 防 団 編

消防団員数状況	38
消防団員階級別勤続年数状況	38
消防団員研修派遣状況	38
消防団員階級別年齢状況	39
消防団員出動状況	39

*消防の沿革

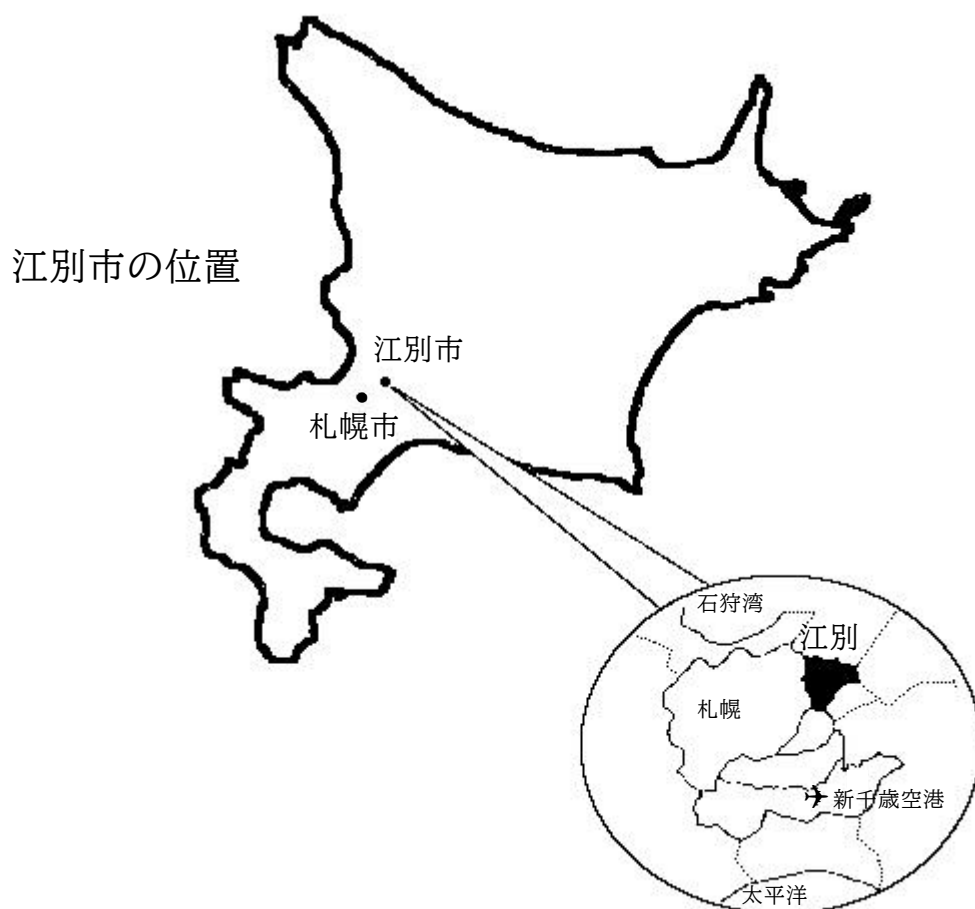
江別消防のあゆみと主な災害等	40～52
----------------	-------

総務編



江別市消防出初め式

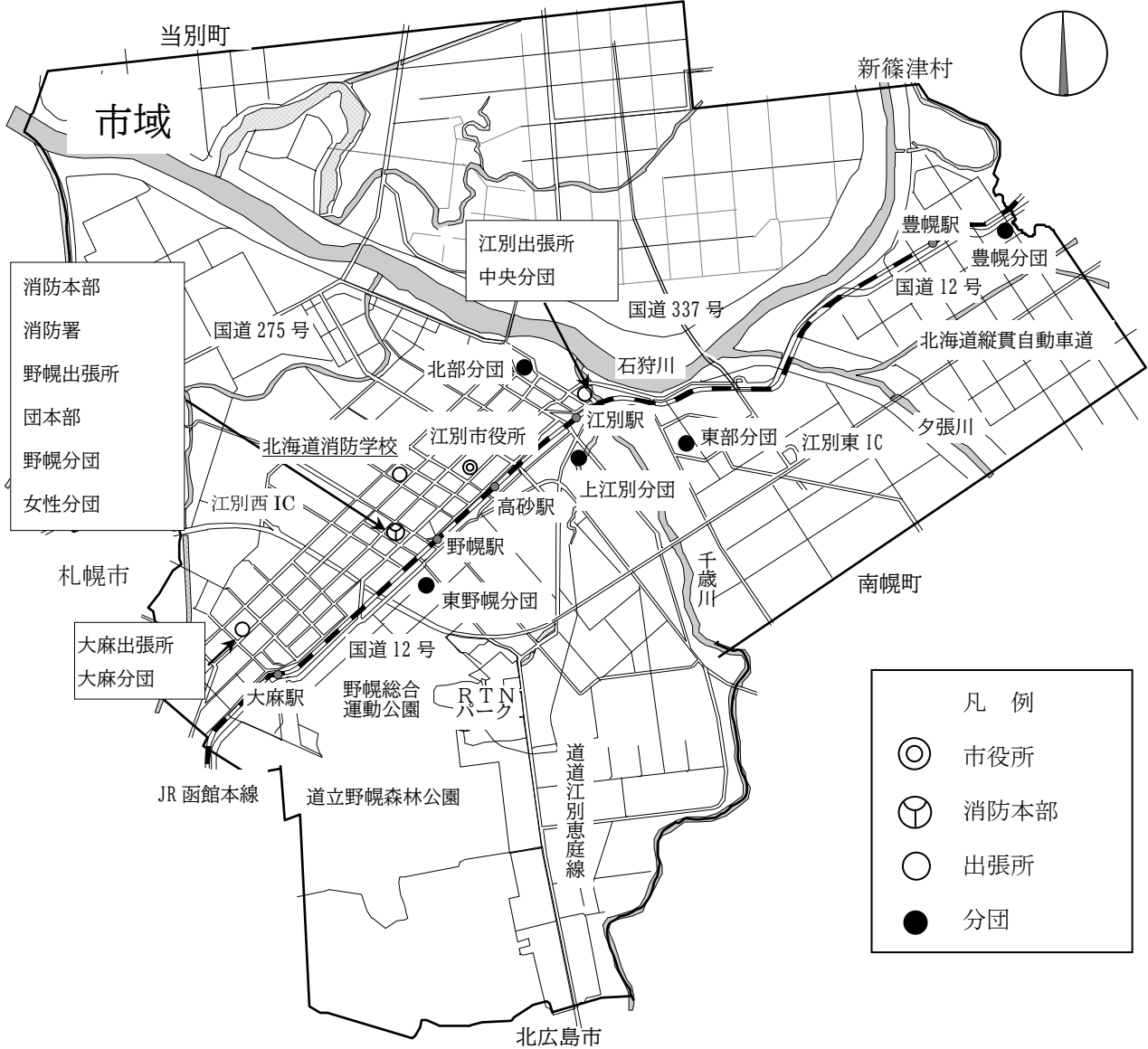
市 勢 概 要



江別市は石狩平野の中央部に位置し、東西約17.3km、南北18.1km、総面積は187.38km²を有しています。地形は南端部の標高93.0mが最高で最低の湿地帯は北東2.5mと全般的に平坦な地勢を形成しています。主流石狩川が市の北東部から北西部へと市域を貫流し、各支流河川と合流しています。南西の高台から北に連なる一連の火山灰埴土地帯は、肥沃な水田酪農地帯から市街地形成が進み、人口の集積地域として著しい発展を示しております。

- ◆ 位 置 (極東) 東経141° 40' 20" (極西) 東経141° 26' 52"
(極南) 北緯 43° 00' 52" (極北) 北緯 43° 10' 13"
- ◆ 面 積 187.38km²
- ◆ 人 口 119,815人(住民基本台帳人口) 令和3年1月1日現在
男56,932人 女62,883人
- ◆ 世 帯 数 58,685世帯
- ◆ 気 象 (令和2年) 観測地点：江別地域気象観測所=アメダスより
平均気温 8.2℃ 最高気温 32.0℃ 最低気温 -22.0℃
総降水量 827.0mm
平均風速 3.2m/秒 最大風速 15.1m/秒

署 所 配 置 図



消 防 庁 舎 の 概 要

名 称	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年次
消 防 本 部 ・ 署 (消 防 団 本 部)	野 幌 代 々 木 町 8 0 番 地 の 8	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 3 階 建 (一 部 4 階)	5,461.81	1,235.00	3,554.00	平成4年
江 別 出 張 所 (中 央 分 団)	3 条 1 丁 目 1 番 地	鉄 骨 造 2 階 建	889.25	334.75	516.75	昭和59年
野 幌 出 張 所 (野 幌 分 団)	消 防 本 部 庁 舎 内					平成4年
大 麻 出 張 所 (大 麻 分 団)	大 麻 元 町 1 9 2 番 地 の 3	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 一 部 2 階 建	3,066.70	465.35	615.09	平成8年
北 部 分 団	緑 町 東 2 丁 目 5 5 番 地 の 2	木 造 モ ル タ ル 2 階 建	303.64	63.18	124.74	昭和46年
上 江 別 分 団	上 江 別 南 町 1 番 地 の 2 5	木 造 モ ル タ ル 平 屋 建	417.39	78.57	78.57	昭和46年
東 野 幌 分 団	野 幌 若 葉 町 7 番 地 の 3	木 造 ガ ル バ リ ウ ム 2 階 建	337.70	121.50	130.68	平成24年
豊 幌 分 団	豊 幌 6 8 6 番 地 の 1 0	鉄 骨 造 平 屋 建	3,000.02	99.81	99.81	平成12年
東 部 分 団	朝 日 町 8 番 地 の 8 1	木 造 モ ル タ ル 2 階 建	441.05	87.48	174.96	昭和53年
女 性 分 団	消 防 本 部 庁 舎 内					平成4年

消 防 現 勢 総 括 表

消 防 本 部		1 本部	消 防 団		1 団
消 防 署		1 署	分 団 数		9 分団
出 張 所		3 出張所	消防団員	定 数	200 人
当初予算	一 般 会 計	45,010,000千円		実 員 数	190 人
	消 防 費	1,233,704千円	非常備消防車両	消 防 ポ ン プ 自 動 車	6 台
	比 率	2.7 %		小 型 動 力 ポンプ付積載車	3 台
消防職員	警 防 要 員	92 人		連 絡 車	1 台
	救 急 要 員	24 人		※ 自衛消防隊の車両については非常備消防車両に含む。	
	予 防 要 員	7 人			
	小 計	123 人			
	そ の 他 の 要 員	7 人			
	合 計（実員数）	130 人			
	定 数	130 人			
常備消防車両	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	4 台			
	化 学 消 防 ポンプ自動車	1 台			
	小 型 動 力 ポンプ付水槽車	1 台			
	救 急 自 動 車	4 台			
	救 助 工 作 車	1 台			
	は し ご 付 消 防 自 動 車	1 台			
	災害情報支援車	1 台			
	広 報 車	1 台			
	連 絡 車	2 台			
	小 型 動 力 ポンプ付積載車	3 台			
	災 害 支 援 車	1 台			
	指 揮 車	1 台			

令和2年度 経常・臨時分析表

(単位：千円)

予算総額	経常経費			臨時経費		
	予算額	特定財源	一般財源	予算額	特定財源	一般財源
1,233,704	1,092,948	4,400	1,088,548	140,756	94,200	46,556

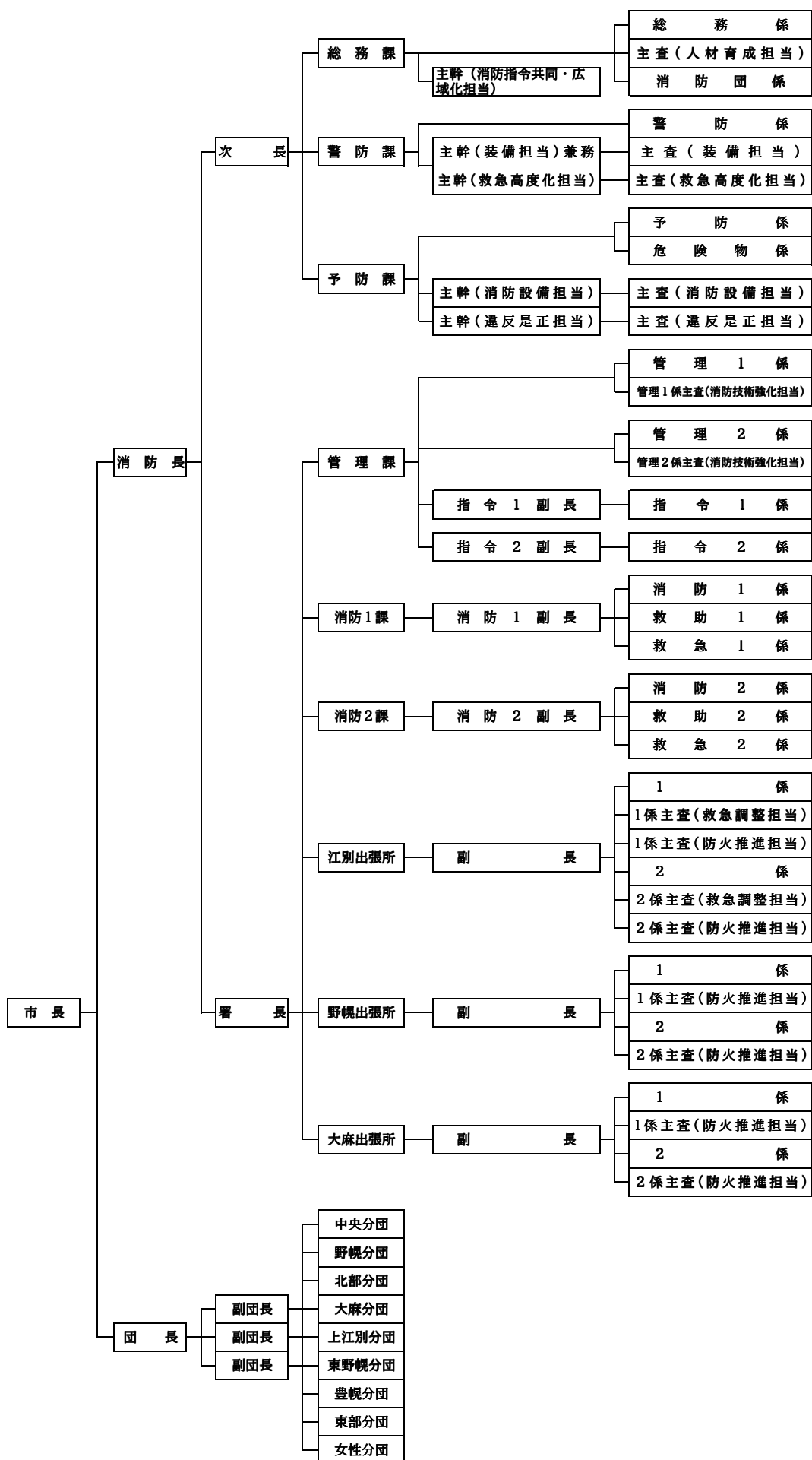
令和2年度 当初消防費予算（歳出）

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内容		節	
				特定	一般	区分	金額
消 防 費	283,598	248,825	34,773	98,057	185,541		
常 備 消防費	245,684	195,765	49,919	諸 収 入 3,857 市債 87,600 計 91,457	154,227	報 酬 4,339 職 員 手 当 等 478 報 償 費 456 旅 費 2,106 交 際 費 27 需 用 費 53,933 役 務 費 15,732 委 託 料 34,928 使 用 料 及 び 料 31,305 工 事 請 負 費 2,700 原 材 料 費 77 備 品 購 入 費 86,896 負 担 金 補 助 金 12,707 及 び 交 付 金	
非常備 消防費	29,874	30,121	△ 247		29,874	報 酬 6,496 報 償 費 61 旅 費 14,022 交 際 費 27 需 用 費 3,156 役 務 費 34 委 託 料 25 使 用 料 及 び 料 236 原 材 料 費 12 負 担 金 補 助 金 5,805 及 び 交 付 金	
消 防 施設費	8,040	22,939	△ 14,899	市 債 6,600	1,440	需 用 費 628 工 事 請 負 費 6,831 原 材 料 費 510 備 品 購 入 費 71	

※ 職員給与費含まず

消 防 機 構 図



消 防 職 員 配 置 状 況

(人)

階級 部署		合 計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1								1
	総 務 課	7			2	2	2			1
	警 防 課	7			2	3	2			
	予 防 課	11			3	4	4			
計		27	1		7	9	8			2
消 防 署	署 長	1		1						
	管 理 課	15			3	6	4	1	1	
	消 防 1 課	17			2	3	8	2	2	
	消 防 2 課	18			2	3	6	1	6	
	江別出張所	24			2	6	9	3	4	
	野幌出張所	14			2	4	4	1	3	
	大麻出張所	14			2	4	5		3	
計		103		1	13	26	36	8	19	
合 計		130	1	1	20	35	44	8	19	2

消 防 職 員 階 級 別 年 齢 状 況

(人)

階級 年令	合 計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
19 歳 以 下	1							1	
20 歳 ～ 24 歳	16							16	
25 歳 ～ 29 歳	19					9	8	2	
30 歳 ～ 34 歳	17					17			
35 歳 ～ 39 歳	14				4	10			
40 歳 ～ 44 歳	16				9	6			1
45 歳 ～ 49 歳	23			7	15	1			
50 歳 ～ 54 歳	12			6	5				1
55 歳 ～ 59 歳	10	1	1	6	2				
60 歳 以 上	2			1		1			
合 計	130	1	1	20	35	44	8	19	2

※ 平均年齢 38.5歳

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数 状 況

(人)

階級 年数	合 計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
5 年 未 満	23					1	4	18	
5 年 ～ 9 年	19					14	4	1	
10 年 ～ 14 年	22				3	18			1
15 年 ～ 19 年	8				4	4			
20 年 ～ 24 年	18			3	10	5			
25 年 ～ 29 年	16			4	10	1			1
30 年 以 上	24	1	1	13	8	1			
合 計	130	1	1	20	35	44	8	19	2

※ 平均勤続年数 17年

消防吏員各種資格取得状況

(人)

階 級		合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
免 許 資 格									
自動車 運転 免許	普 通	14							14
	準 中 型 (5 t 限 定)	14					3	3	8
	中 型 (8 t 限 定)	7			3	1	3		
	大 型	98	1	1	17	34	38	5	2
救 急 救 命 士		37	1		6	10	10	3	7
小 型 船 舶 操 縦	一 級	1			1				
	二 級	35		1	7	14	13		
陸上特殊無線技士	二 級	50			11	19	20		
	三 級	19		1		1	2	2	13
予 防 技 術 資 格 者		防火査察	30	1	7	14	8		
		消防設備	12	1	4	5	2		
		危 険 物	10		3	5	2		
技能講習	小 型 移 動 式 ク レ ーン		27		1	7	11	7	1
	玉 掛 技 能		28		1	7	12	7	1
	酸 欠 危 険 作 業 主 任 者	酸素欠乏	25		1	9	10	5	
		硫化水素	23		1	9	9	4	
	足 場 組 立 作 業 主 任 者		7			2	4	1	
衛 生 管 理 者		11			2	6	3		

消 防 職 員 教 育 状 況

(人)

年 度		平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
教 育 課 程											
消 防 大 学 校	総 合 教 育 (上 級 幹 部 科 ・ 幹 部 科)				2						
	専 科 教 育 (火 災 調 査 科 他)								2		
	実 務 講 習 (消防団活性化推進コース・女性活躍推進コース 査 察 業 務 マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス)					1	1			1	
北 海 道 消 防 学 校	初 任 教 育	4	2	6	5	3	5	5	6	3	5
	専 科 教 育	警 防 科		1	1	1	2	1		1	
		予 防 査 察 科		1	1	1	1	1		1	
		危 険 物 科		1		1	1	1		1	
		火 災 調 査 科		1		1	1	1		1	
		救 急 科		3	3	4	4	4	3	4	2
		救 助 科		1	2	1	1	2	2	1	1
	幹 部 教 育 幹 部 科		1			1	1	1		1	
	特 別 教 育	消防ポンプ操法指導員課程			1		1		2		
		はしご自動車運用課程		1	2	2	1	1	1		
		大 規 模 災 害 広域応援現場指揮課程							1	1	
	道 係 M C 関	ビデオ硬性喉頭鏡講習		2	2	4	2	2		1	2
		処置拡大2行為講習			4	4	4	2	2	2	
札 幌 市 消 防 学 校 等	救 急 救 命 士 養 成 課 程		1	1	1	1	1			1	1
	指 揮 隊 長 研 修		1		1		1	1			
	指 揮 隊 員 研 修				1						
行 政 機 関 研 修	市 町 村 職 員 中 央 研 修 所 全 国 市 町 村 国 際 文 化 研 修 所		3	1	1	2	1		1	1	
	北 海 道 市 町 村 職 員 研 修 セ ン タ ー		3	3	5	7	3	3	6	8	6
	札 幌 市 自 治 研 修 セ ン タ ー (札 幌 広 域 圏 組 合 共 同 研 修)		2	1					7	3	
合 計		13	21	19	34	32	32	22	34	30	13

編 防 予



文化財防火デー消防訓練

危険物施設状況

(施設)

地区別 施設別		消防署			合計
		江別	野幌	大麻	
製造所					
貯蔵所	屋内貯蔵所	13	5	2	20
	屋外タンク貯蔵所	27	13	2	42
	屋内タンク貯蔵所	9	2	1	12
	地下タンク貯蔵所	67	63	42	172
	簡易タンク貯蔵所			1	1
	移動タンク貯蔵所	33	19	8	60
	屋外貯蔵所	3	2		5
取扱所	給油取扱所	14	17	4	35
	一般取扱所	28	24	12	64
	販売取扱所				
合計		194	145	72	411

危険物施設の許可・承認状況

(件)

許可承認別 施設別		設置		変更		完成 検査前 検査	仮使用	仮貯蔵・ 仮取扱	合計
		許可	完成	許可	完成				
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所								
	屋外タンク貯蔵所	1	1						2
	屋内タンク貯蔵所			1	1				2
	地下タンク貯蔵所			2	2				4
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	4	4	5	5				18
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所	1	1	3	3		1		9
	一般取扱所			2	2		1		5
	販売取扱所								
合計		6	6	13	13		2		40

建築物確認申請消防同意処理状況

(件)

項目	区分	合計	新築	増築	改築	その他	耐火	準耐火	その他
1	イ								
	ロ								
2	イ								
	ロ	1				1			1
	ハ								
	ニ								
3	イ								
	ロ	1				1			1
4		1	1					1	
5	イ								
	ロ	15	15				1	6	8
6	イ								
	ロ	6	6				5	1	
	ハ	6	6					3	3
	ニ								
7									
8									
9	イ								
	ロ								
10									
11									
12	イ	2	1	1				1	1
	ロ								
13	イ								
	ロ								
14		5	5					2	3
15		4	4						4
16	イ	9	6	2		1	4	2	3
	ロ								
17									
その他		25	23	2				1	24
昇降機									
計画通知		3	3				1		2
小計		78	70	5		3	11	17	50
専用住宅		15	15						15
小計		15	15						15
合計		93	85	5		3	11	17	65

政令対象物施設状況・防火管理者選任状況

(件)

対 象 物			政 令 対象物	選任義務 対象物	選任済 対象物	消防計画 提出数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	4	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場	70	61	61	61
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類				
	ロ	遊技場、ダンスホール	6	6	6	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のために個室にて業務を営む店舗の類	1	1	1	1
3	イ	待合、料理店の類				
	ロ	飲食店	88	46	43	44
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	108	86	78	78
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	6	2	2	2
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	1,555	62	58	58
6	イ	病院、診療所、助産所	53	14	14	14
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、介護老人保健施設、重症心身障害児施設	44	35	32	32
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所、児童養護施設、精神障害者社会復帰施設	88	31	29	29
	ニ	幼稚園、盲学校、ろう学校、養護学校	3	1	1	1
7		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校の類	130	34	34	34
8		図書館、博物館、美術館の類	10	6	5	5
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	1	1	1	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	5	4	4	4
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	3			
11		神社、寺院、協会の類	44	27	26	26
12	イ	工場、作業場	280	8	8	8
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	41			
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	276	6	6	6
15		前各項に該当しない事業場	260	43	42	42
16	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	216	146	142	141
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	123	38	38	38
16-2		地下街				
16-3		準地下街				
17		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	1	1	1	1
18		延長50メートル以上のアーケード				
19		市町村長の指定する山林				
20		自治省令で定める舟車（省令5条）				
合計			3,416	660	633	633

階層別・業態別棟数表

階層別 業態別		総棟数	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階
1項	イ													
	ロ	1		1										
2項	イ													
	ロ													
	ハ													
	ニ													
3項	イ													
	ロ	2	2											
4項														
5項	イ	1	1											
	ロ	295	148	85	13	5	10	5	13	12		1	2	1
6項	イ	8	5	1	2									
	ロ	4	2	2										
	ハ	2	1	1										
	ニ													
7項		26	17	4	1			1	2		1			
8項		2	2											
9項	イ													
	ロ													
10項														
11項		2	2											
12項	イ	8	3	2	2			1						
	ロ													
13項	イ													
	ロ													
14項		1	1											
15項		6	2	2	1	1								
16項	イ	24	7	9	4	1			2	1				
	ロ	13	10	2		1								
合計		395	203	109	23	8	10	7	17	13	1	1	2	1

各 種 届 出 状 況

区 分	件 数	区 分	件 数
消 防 用 設 備 等 着 工 届	49	ストーブ・煙突取付清掃業届出書	
消 防 用 設 備 等 設 置 届	110	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	123
防火対象物使用開始（内容変更）届	85	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	9
防 火 管 理 者 選 任 （ 解 任 ） 届	173	水 張 水 圧 検 査 ・ 検 査 申 請	
防 災 管 理 者 選 任 （ 解 任 ） 届		圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	20
消 防 計 画 作 成 （ 変 更 ） 届	232	集 合 煙 突 発 煙 試 験 申 請	
自 衛 消 防 組 織 設 置 （ 変 更 ） 届	2	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
燃 料 電 池 発 電 ・ 変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 ・ 設 備 設 置 届	40	催 物 開 催 届	7
炉・厨房設備・ボイラー設置届	22	道 路 工 事 届 出 書	36
温 風 暖 房 機 設 置 届	6	劇 場 等 の 裸 火 使 用 ・ 危 険 物 持 ち 込 み 申 請 書	
給 湯 湯 沸 設 備 設 置 届	3	水素ガスを充填する気球の設置届	
サ ウ ナ 設 備 設 置 届		煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	20
ヒ ー ト ポ ンプ 冷 暖 房 機 設 置 届	1	火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届 出 書	137
乾 燥 設 備 設 置 届	3	訓 練 現 地 指 導 願 い	581
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	2,093	消 防 設 備 業 届 出 書	7
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	88	液 体 燃 料 を 使 用 す る 設 備 ・ 器 具 取 付 点 検 整 備 業 届 出	
露 店 等 の 開 設 届 出 書	21	合 計	3,868

民 間 防 火 組 織 等 状 況

団 体 名	会員数
幸 町 少 年 防 火 ク ラ ブ	60
上江別自治連合会ジュニア消防クラブ	0
幸 町 女 性 防 火 ク ラ ブ	80
上 江 別 第 一 自 治 会 防 火 部	26
認定こども園大麻まんまるこども園幼年消防クラブ	73
江別市あかしや保育園幼年消防クラブ	78
認定こども園もりのひだまり幼年消防クラブ	146
江別市やよい保育園幼年消防クラブ	120
あすかの森認定こども園幼年消防クラブ	81
認定こども園第2大麻こども園幼年消防クラブ	160
北 光 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	23
江 別 大 谷 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	83
認定こども園 若葉幼稚園幼年消防クラブ	105
江別あかしや幼稚園幼年消防クラブ	104
愛 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	141
わ か ば 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	134
誠 染 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	72
上 江 別 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	77
認定こども園 あけぼの幼年消防クラブ	212

団 体 名	会員数
江別市よつば保育園幼年消防クラブ	110
江 別 市 防 火 管 理 者 連 絡 協 議 会	163
江 別 市 危 険 物 安 全 協 会	104
野 幌 森 林 自 衛 消 防 隊	19
江 北 地 区 自 衛 消 防 隊	69
24団体	2,240

火 災 予 防 各 種 行 事 実 施 状 況

行 事 名	期 間	概 要
文化財防火デー	1月24日	消防訓練・立入検査：「江別市郷土資料館」にて通報・初期消火・避難誘導訓練を実施後に立入検査を実施
春の火災予防運動	4月20日 ～ 4月30日	火災予防啓発活動：情報図書館にて住宅用火災警報器の啓発物品の掲示、リーフレットの配布、防火・防災に関する図書の特集コーナーを設置。また、ホームページで住宅防火対策の記事を掲載 幼年消防クラブ入団式：市内保育園・幼稚園の新入園児がクラブ員として入団 乾燥時や強風時の火災防止対策：野火警戒巡視やホームページにより記事を掲載 放火火災防止対策：街区巡視や市内公園4箇所へののぼりを設置
危険物安全週間	6月7日 ～ 6月13日	立入検査：危険物施設における立入検査を実施 チラシ等の配布：市内事業所へリーフレット等を配布し、事故防止対策の徹底を啓発
秋の火災予防運動	10月15日 ～ 10月31日	火災予防啓発活動：トンデンファームのイベントに併せて防火ブースを設置 住宅防火コーナーの設置：市内住区会館8施設に住宅防火に関する小冊子や住宅用火災警報器に関する広報用マスクなどを設置 飲食店ビル等合同消防訓練：飲食店ビルの経営者・従業員を対象に訓練を実施 各種届出申請マニュアルの配布：江別市防火管理者連絡協議会及び江別市危険物安全協会の会員を対象に配布
歳末特別火災予防運動	12月20日 ～ 12月31日	住宅防火コーナーの設置：市内病院3施設に住宅防火に関する小冊子や住宅用火災警報器に関する広報用マスクなどを設置 理美容組合による火災予防広報：市内42店舗の理容・美容店の協力により利用客へリーフレットを配布 防火カレンダーの配布：防火カレンダーを作成し、事業所・自治会集会場へ配布 表示広報：消防庁舎にて防火イルミネーションを設置
その他	随時	◆高齢者世帯見回り広報◆ 江別市民生委員児童委員の高齢者世帯見回り活動に同行し、防火相談や住宅用火災警報器の適正維持管理についての説明を実施 ◆住宅用火災警報器設置推進関係◆ 戸別調査によりリーフレットやマスクを配布及び取付支援を実施 ◆火災予防広報◆ 災害案内ダイヤルの平常時案内を火災予防運動期間中のみ火災予防啓発用に変更 ◆遊戯施設での文字広報◆ 火災予防運動期間中に市内遊戯施設の電光掲示板を活用した文字広報を実施 ◆掲示物広報◆ 火災予防運動期間中に市内各所へ防火のぼり・垂幕等を掲示 ◆出前講座の開催◆ 暮らしの中に潜む出火危険や対応方法に関する意識啓発のための出前講座を開催 ◆小学生を対象とした「消防教室」の開催◆ 早期からの防火防災意識を啓発し、地域における次世代の防災リーダーを育成するための教室を開催

警 防 編



水槽付消防ポンプ自動車 109号車

(令和2年 納車 運用開始)

消 防 自 動 車 等 の 現 勢

配置 \ 区分		呼称名	種 別	車 名	積 載 水 量 (L)	乗 車 定 員 (人)	購入年月	特 記
消防本部 消防署		1 0 4号車	化学消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H29.02	A-2級
		1 0 7号車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H20.12	A-2級
		1 0 8号車	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	10,000	3	H9.12	
		3 0 1号車	救 急 自 動 車	日 産		7	H22.01	
		3 0 3号車	救 急 自 動 車	トヨタ		8	H23.11	
		3 0 5号車	救 急 自 動 車	日 産		7	H29.12	
		5 0 2号車	は し ご 付 消 防 自 動 車	日 野		6	H30.10	先端屈折式
		5 0 4号車	救 助 工 作 車	日 野		6	H28.03	
		6 0 4号車	災 害 情 報 支 援 車	トヨタ		5	H26.10	
		6 0 5号車	広 報 車	トヨタ		9	H26.10	
		6 0 6号車	連 絡 車	日 産		5	H24.07	
		6 0 7号車	連 絡 車	ダイハツ		4	H23.02	
		8 0 1号車	災 害 支 援 車	トヨタ		2	H10.09	
		9 0 1号車	指 揮 車	トヨタ		4	H29.12	
江 別 出 張 所		1 0 5号車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H27.01	A-2級
		3 0 2号車	救 急 自 動 車	トヨタ		8	H25.04	
		7 0 3号車	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		5	H31.01	
野 幌 出 張 所		1 0 9号車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	R2.03	A-2級
		7 0 5号車	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		5	R1.09	
大 麻 出 張 所		1 0 3号車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H21.08	A-2級
		7 0 6号車	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		6	H28.12	
中 央 分 団		2 0 2号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		7	H7.02	A-2級
野 幌 分 団		2 0 3号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H25.12	A-2級
北 部 分 団		2 0 4号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H30.01	A-2級
大 麻 分 団		2 0 7号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ		6	H7.08	A-1級
上 江 別 分 団		7 0 4号車	小型動力ポンプ付積載車	三 菱		8	H1.07	
東 野 幌 分 団		2 0 6号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱		6	H2.03	A-2級
豊 幌 分 団		2 0 5号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H27.03	A-2級
東 部 分 団		7 0 2号車	小型動力ポンプ付積載車	三 菱		8	H2.07	
女 性 分 団		6 0 8号車	連 絡 車	日 産		4	H28.12	
自衛消防隊	江 北	7 0 1号車	小型動力ポンプ付積載車	スズキ		4	H26.12	

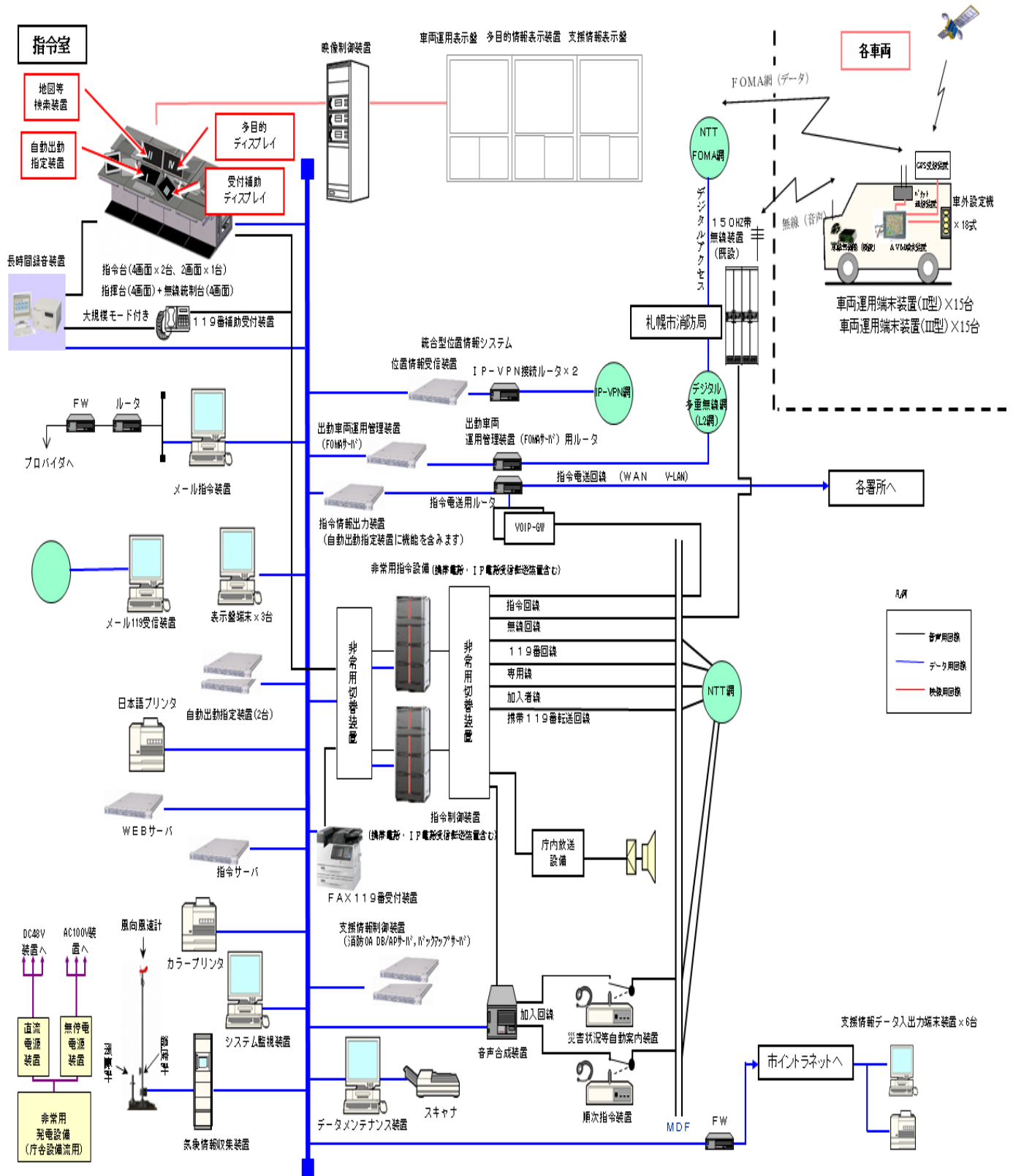
消 防 水 利 設 置 状 況

区分 地区別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m ³ 未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
江 別 地 区	331	107	44	17	3	502	2	7
野 幌 地 区	247	5	36	34	2	324		4
大 麻 地 区	164	13	16	5	1	199	1	4
合 計	742	125	96	56	6	1,025	3	15
	867		152				18	

市街地・準市街地等における消防水利の設置状況

区分 地域別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m ³ 未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
市 街 地	702	123	91	39	6	961	3	9
準 市 街 地	20		3			23		
その他の地域	20	2	2	17		41		6
合 計	742	125	96	56	6	1,025	3	15
	867		152				18	

江別市消防本部 システム構成図



災 害 等 総 括 編



火 災 現 場 活 動 状 況

月 別 災 害 等 受 付 状 況

(件)

月 別	火 災	救 急	救 助	他の災害	問 合	通報訓練	悪 戯	間 違 い	そ の 他	転送	合 計
1 月	1	413	5	24	32	47		25	48	12	607
2 月		376	2	21	33	55	1	28	61	3	580
3 月	5	323	8	29	32	63		29	64	2	555
4 月	7	307	3	14	45	108		24	61	3	572
5 月		311	10	20	43	85	2	31	58	5	565
6 月	2	339	8	17	31	95	1	27	85	5	610
7 月	9	365	12	25	40	88	1	34	60	4	638
8 月	6	401	5	24	47	97	2	32	74	9	697
9 月	6	372	5	20	23	119	3	33	144	8	733
1 0 月	4	421	5	28	25	160	1	30	89	6	769
1 1 月	4	358	10	29	37	112		32	176	4	762
1 2 月	6	394	15	26	50	80		22	139	15	747
合 計	50	4,380	88	277	438	1,109	11	347	1,059	76	7,835

※ 本表は、119番通報（NTT回線、IP回線、携帯電話）、緊急通報装置、専用回線、一般加入電話、駆け込み、直接覚知、消防無線、FAX、Eメールによる災害等の通報受付件数を集計したものである。

過 去 5 か 年 災 害 受 付 状 況

(件)

	火 災	救 急	救 助	他の災害	問 合	通報訓練	悪 戯	間 違 い	そ の 他	転送	合 計
平成28年	79	4,161	88	483	487	1,411	7	317	1,029	47	8,109
平成29年	46	4,261	95	424	440	1,124	7	326	1,129	59	7,911
平成30年	66	4,655	73	546	543	759	8	263	1,097	66	8,076
令和元年	76	4,800	88	400	485	891	11	356	1,131	74	8,312
令和2年	50	4,380	88	277	438	1,109	11	347	1,059	76	7,835

災害等出動状況

種別 分類	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
出 動 件 数	40	4,531	108	137	233		5,049
出 動 隊 数	237	4,531	450	143	467		5,828

月別災害等出動状況

(件)

種別 月別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
1 月	2	426	8	6	21		463
2 月		368	3	14	18		403
3 月	4	338	8	16	21		387
4 月	7	316	4	5	20		352
5 月		329	8	14	20		371
6 月	3	343	9	7	18		380
7 月	6	383	15	18	12		434
8 月	3	414	10	9	22		458
9 月	1	386	8	11	11		417
1 0 月	5	432	5	12	19		473
1 1 月	4	378	13	14	21		430
1 2 月	5	418	17	11	30		481
計	40	4,531	108	137	233		5,049

※ 出動指令に基づく災害等の出動状況である。

過去5か年災害等出動状況

(件)

種別 年別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
平成28年	32	4,537	95	216	371	16	5,267
平成29年	22	4,532	108	213	310	4	5,189
平成30年	37	4,898	90	234	357	59	5,675
令和元年	40	5,032	88	183	297	16	5,656
令和2年	40	4,531	108	137	233		5,049

※ 令和元年から出動指令に基づく災害等の出動状況である。

警戒等出動状況

種別 分類	警 戒						風水害等 自然災害	計
	火気設備 等事故	燃烧事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
出動件数	1	8	58	49	11	10		137
出動隊数	1	8	58	49	16	11		143

地区別警戒等出動状況

(件)

種別 地区別	警 戒						風水害等 自然災害	計
	火気設備 等事故	燃烧事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
江別地区	1	5	15	20	2	1		44
野幌地区		3	21	18	7	7		56
大麻地区			22	11	2	2		37
計	1	8	58	49	11	10		137

過去5か年警戒等出動状況

(件)

種別 年別	警 戒						風水害等 自然災害	計
	火気設備 等事故	燃烧事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
平成28年	7	14	44	75	38	38	16	232
平成29年	2	8	50	84	33	36	4	217
平成30年	1	10	59	71	50	43	59	293
令和元年	4	3	44	87	20	25	16	199
令和2年	1	8	58	49	11	10		137

救急支援出動状況

種別 分類	救 急 支 援				計
	CPA (疑い含む)	搬送困難	活動障害	その他	
出動件数	196	8	15	14	233
出動隊数	392	16	45	14	467

地区別救急支援出動状況

(件)

種別 地区別	救 急 支 援				計
	CPA (疑い含む)	搬送困難	活動障害	その他	
江別地区	75	2	5	3	85
野幌地区	73	3	4	2	82
大麻地区	48	3	6	9	66
計	196	8	15	14	233

過去5か年救急支援出動状況

(件)

種別 年別	救 急 支 援				計
	CPA (疑い含む)	搬送困難	活動障害	その他	
平成28年	311	22	27	11	371
平成29年	258	24	22	6	310
平成30年	295	32	18	12	357
令和元年	228	13	27	29	297
令和2年	196	8	15	14	233

北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況

応援出動状況

分類 種別	件数	出動車両台数	出動人員	備考
救 急 出 動	4	5	16	
火 災 出 動	2	8	25	
警 戒 出 動	2	2	8	
救 助 出 動				
その他	1	2	8	※参照
計	9	17	57	

(応援先内訳)

札幌市消防局	3件	北広島市消防本部	1件
岩見沢地区消防事務組合	2件	夕張市消防本部	1件
南空知消防組合	2件		

※ 「その他」については、夕張市消防本部にて新型コロナウイルスの感染が確認されたことを受け、協定に準じた応援出動となったもの。

被応援状況

分類 種別	件数	出動車両台数	出動人員	備考
救 急 出 動	11	14	46	
火 災 出 動	1	1	2	
救 助 出 動	1	1	3	
計	13	16	51	

(要請先内訳)

札幌市消防局	9件	北広島市消防本部	1件
石狩北部地区消防事務組合	3件		

航空隊応援要請状況

(件)

要請内訳 航空隊別	要請 件数	内訳					
		交通事故	急病	自損行為	労働災害	火災	その他
ドクターヘリ	13	6	3	1	3		
北海道防災ヘリ							
そ の 他							
計	13	6	3	1	3		

火 災 編



火 災 現 場

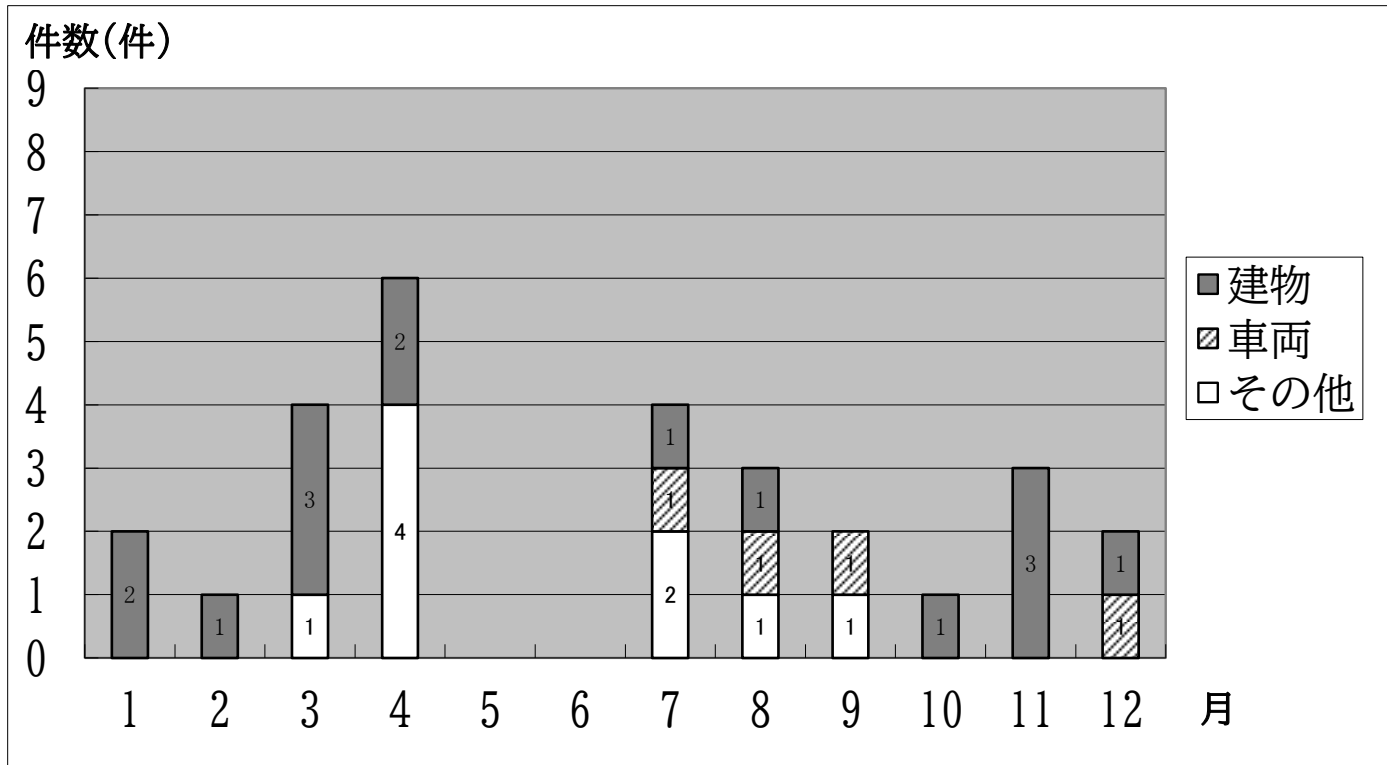
火 災 発 生 状 況

区 分	内 訳	
出 火 件 数	建 物 火 災 1 5 件	車 両 火 災 4 件
	林 野 火 災 0 件	そ の 他 火 災 9 件
	合 計 2 8 件	
焼 損 棟 数	全焼2棟・半焼4棟・部分焼4棟・ぼや8棟 合計18棟	
建物焼損面積	焼 損 床 面 積	9 6 0 . 1 8 m ²
	焼 損 表 面 積	1 7 . 7 5 m ²
林野焼損面積	0 . 0 0 h a (0 a)	
損 害 額	建物の損害 6 3 , 6 6 0 千円	車両の損害 3 7 0 千円
	林野の損害 0 千円	その他の損害 1 4 5 千円
	合 計 6 4 , 1 7 5 千円	
死 傷 者 数	死者0人 ・ 負傷者4人	
出火1件当り 焼 損 面 積	6 4 m ²	
出火1件当り 損 害 額	約2, 2 9 2 千円	

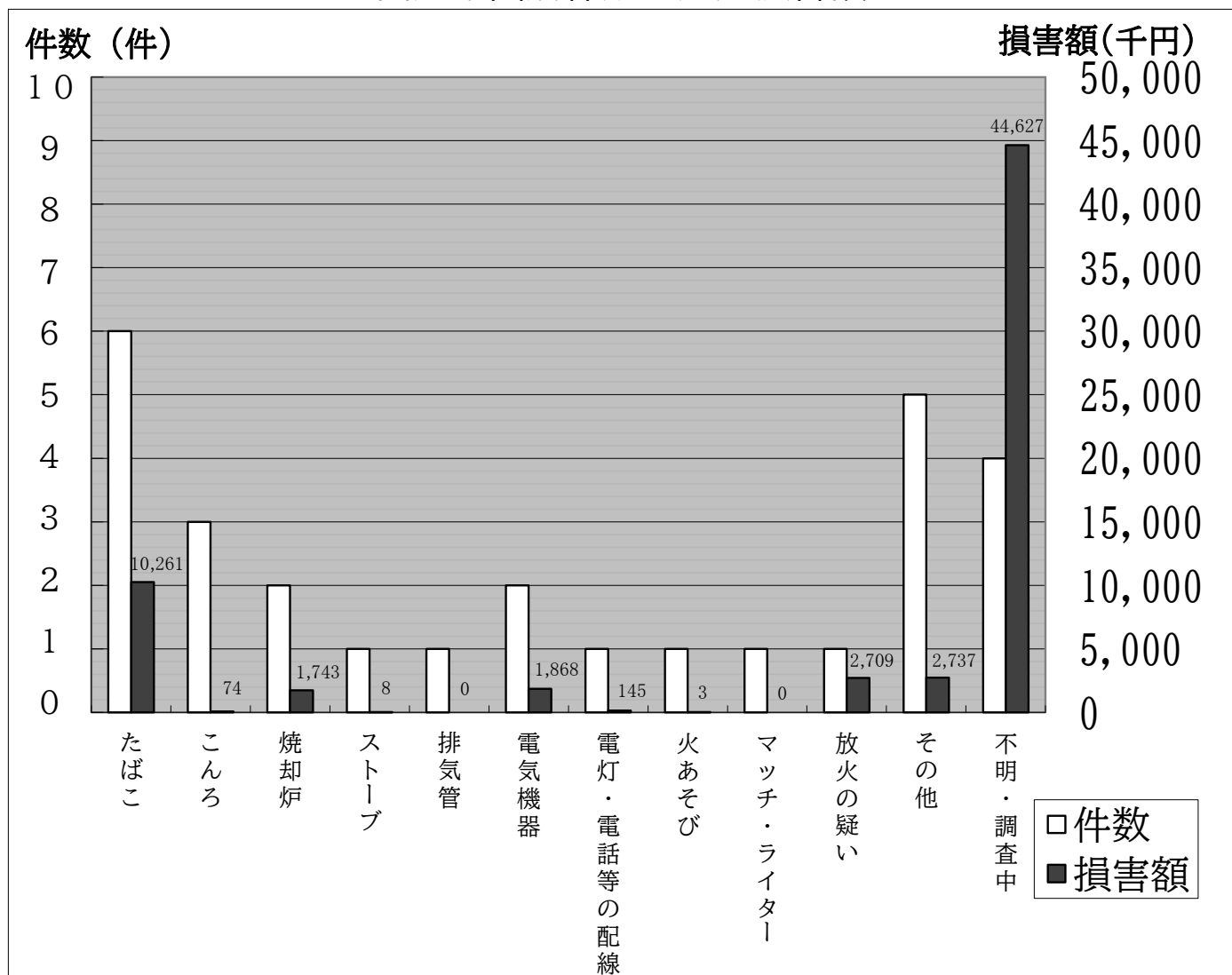
月 別 火 災 状 況

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出 火 件 数	建 物	全 焼				1			1						2
		半 焼	1							1		1			3
		部 分 焼			2										2
		ぼ や	1	1	1	1							3	1	8
		小 計	2	1	3	2			1	1		1	3	1	15
	林 野														
	車 両							1	1	1			1	4	
	船 舶														
	航 空 機														
	そ の 他			1	4			2	1	1				9	
	合 計	2	1	4	6			4	3	2	1	3	2	28	
	焼 損 棟 数	全 焼				1			1						2
半 焼		1			1				1		1			4	
部 分 焼				2				2						4	
ぼ や		1	1	1	1							3	1	8	
計		2	1	3	3			3	1		1	3	1	18	
焼 損 床 面 積 m ²			52	1	12	45			33	45		772			960
焼 損 表 面 積 m ²			7		1	10									18
林野焼損面積 a															
世帯 数	り 災	全 損													
		半 損	1							1					2
		小 損	29	1	2				1				2	1	36
		計	30	1	2				1	1			2	1	38
り 災 人 数			31	6	2				1	3			9	1	53
死 傷 者 等 人 数	死 者														
	負 傷 者	1		2					1						4
	計	1		2					1						4
焼 損 見 積 額 (千円)	建 物		6,567	50	508	4,569			1,743	6,144		44,055	19	5	63,660
	林 野														
	車 両									27	343				370
	船 舶														
	航 空 機														
	爆 発														
	そ の 他								145						145
	合 計		6,567	50	508	4,569			1,888	6,171	343	44,055	19	5	64,175

月別出火件数



出火原因別件数と火災損害額



過去5か年原因別火災発生状況

(損害額単位：千円)

原因別	年別	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
たばこ				1		5	2,653	4		6	10,261
こんろ		3	35	1	955	3	22	2	23	3	74
かまど											
風呂かまど											
炉		1	430								
焼却炉						1	4	1		2	1,743
ストーブ		1	384	4	10,709	2	33	4	778	1	8
こたつ											
ボイラー		1	20								
煙突・煙道		1	145					1	1,421		
排気管		1	701	2	310			2	35	1	
電気機器				2	342	2	3			2	1,868
電気装置								1	24		
電灯・電話等の配線		1	193	1	18	1	4			1	145
内燃機関				1	196						
配線器具				1	642	4	3,030	2	506		
火あそび										1	3
マッチ・ライター								1	302	1	
たき火											
溶接機・切断機								1	24		
灯火						1	25				
衝突の火花								2	4		
取灰						1	7				
火入れ						1					
放火		1	9			4	199				
放火の疑い		1	138	1	1,254	1				1	2,709
その他		8	470	3	53	8	3,143	9	1,623	5	2,737
不明・調査中		13	41,332	5	1,455	2	2,355	5	28,770	4	44,627
合計		32	43,857	22	15,934	36	11,478	35	33,510	28	64,175

用 途 別 火 災 原 因 調 査

区 分	火 元 用 途	出 火 箇 所	発 火 源	経 過	着 火 物
建 物 火 災	住宅	車庫	グラインダーの火花	火花が飛ぶ	繊維製品
		台所	ガステーブル	放置する	動植物油類
		天井裏	不明	不明	小屋組材
		居室	たばこ	火源が落下する	机
	共同住宅	台所	ガステーブル	放置する	動植物油類
		居室	火のついた紙	火あそび	衣類
		居室	ストーブ（半密閉式）	意図なしにスイッチが入る	椅子
		居室	ガステーブル	考え違いにより使用を誤る	合成樹脂と成形品
	事務所	作業場	レーザー加工機	機械の調整が適当でない	アクリル板
		事務室	バッテリー	短絡する	段ボール
	工場	タイヤ庫	不明	放火の疑い	段ボール
	作業場	作業場	たばこ	不適当なところに捨て置く	木屑
	物置	物置	ごみ焼却炉の火の粉	火の粉が遠くへ飛び火する	紙屑
	養畜舎	畜舎	不明	不明	不明
	複合用途（特定）	居室	たばこ	火源が落下する	カーペット
車 両 火 災	特殊車	荷台	ライター	火源が接触する	紙屑
	乗用車	運転席	たばこ	不適当なところに捨て置く	合成樹脂と成形品
	貨物車	荷台	不明	不明	不明
		荷台	排気管	高温物が触れる	建築木材
そ の 他 の 火 災	その他	敷地内	高温のシャフト	可燃物が火源に滴下	ガソリン
		河川敷等	不明	不明	枯草
		敷地内	火のついたごみ	火の粉が遠くへ飛火する	積わら
		敷地内	ごみ焼却炉の火の粉	火の粉が遠くへ飛び火する	枯草
		敷地内	火のついたゴミ	火源が動いて接触	枯草
		敷地内	屋外線	短絡する	合成樹脂と成形品
		空地	バーナー	その他	枯草
		空地	たばこ	不適当なところに捨て置く	立木
		敷地内	たばこ	不適当なところに捨て置く	木切れ

火 災 覚 知 別 状 況

(件)

種 別 件 数	火災報知 専用電話 (加入)	火災報知 専用電話 (携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他	合計
件 数	9	12		2	2	1	2		28

曜日・出火時間帯別火災状況

(件)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
0ー1									
1ー2									
2ー3	1								1
3ー4									
4ー5									
5ー6						1			1
6ー7									
7ー8									
8ー9									
9ー10									
10ー11						1	2		3
11ー12		2			2				4
12ー13		2	1		1				4
13ー14	2				1				3
14ー15									
15ー16			1				1		2
16ー17	1	2		1					4
17ー18									
18ー19							1		1
19ー20			1		1				2
20ー21					1	1			2
21ー22					1				1
22ー23									
23ー24									
不明									
合計	4	6	3	1	7	3	4		28

救 助 編



事 故 車 両 か ら の 救 出 活 動

月別救助出動状況

(件) (人)

種別 月別	出 動 件 数	事故種別								救 助 人 員	
		交 通 事 故	水 難 事 故	自然災害等	風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス欠事及び	破裂事故		その他の事故
1月	8	1					7				5
2月	3	2					1				1
3月	8	1	1				6				4
4月	4						4				2
5月	8	1	1				4	1		1	7
6月	9	1					7			1	5
7月	15	1	2				10			2	7
8月	10	1	1				8				5
9月	8	1				1	5			1	5
10月	5		1				3			1	6
11月	13	1					11			1	11
12月	17	4					11	2			14
計	108	14	6			1	77	3		7	72

過去5か年救助出動状況

(件) (人)

種別 年別	出動 件数	事故種別									救助 人員		
		火災		交通 事故	水難 事故	自然災害 等	風水害 等	機械による 事故	建物等による 事故	ガス欠事 及		破裂事 故	その他の事 故
		建 物	建物以外										
平成28年	95			34	2	1	1	2	1			54	45
平成29年	108	2		34	2		5	34	4			27	61
平成30年	90	1		16	1	1	4	39	9			19	56
令和元年	88			30			1	40	5			12	45
令和2年	108			14	6		1	77	3			7	72

※統計方法の見直しをしたため、令和元年より火災出動件数を除く。

地区別救助出動状況

(件) (人)

地区別 種別	出動件数	事故種別								救助人員	
		交通事故	水難事故	自然災害等	風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス欠事故及び	破裂事故		その他の事故
江別地区	41	7	5				26	2		1	25
野幌地区	36	6	1			1	21	1		6	27
大麻地区	31	1					30				20
計	108	14	6			1	77	3		7	72

発生場所別救助出動状況

(件) (人)

発生場所別 種別			出動件数	事故種別							救助人員	
				交通事故	水難事故	自然災害等	風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス欠事及び		破裂事故
屋内	住居		76					74	2			50
	その他の屋内		1					1				1
屋外	道路	高速自動車国道										
		その他の道路	13	13								9
	水面	内水面	5		5							4
		外水面										
	その他の屋外		13	1	1		1	2	1		7	8
地下												
その他												
計			108	14	6		1	77	3		7	72

※統計方法の見直しをしたため、令和元年より火災出動件数を除く。

救 急 編



救 急 活 動 訓 練

救 急 活 動

(人)

出場件数	傷病者搬送件数	不搬送件数	医師搬送	資器材搬送	傷病者搬送人員
4,531	4,090	441			4,107

月 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 月別	出場 件数	事故種別													
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	426	2			16	4	1	63		3	297	37			3
2月	368				18	2	1	60	1		243	40			3
3月	338	5		1	13			60	2	2	227	24			4
4月	316	3			10	4		41		4	227	27			
5月	329			1	10			46		4	248	20			
6月	343	2			16	3	1	41		2	253	23			2
7月	383	4			25	6		54		1	257	36			
8月	414	2			18	6	2	53		2	305	24			2
9月	386	1			16	4	5	47	1	5	265	40			2
10月	432	4		1	18	5	1	59		2	314	28			
11月	378	2			19	6	2	59	1	1	257	29			2
12月	418	5			23	1	3	54		2	299	30			1
計	4,531	30		3	202	41	16	637	5	28	3,192	358			19

搬送人員	4,107	3			187	47	17	596	5	31	2,864	355			2
------	-------	---	--	--	-----	----	----	-----	---	----	-------	-----	--	--	---

過去5か年救急出場状況

(件) (人)

種別 年別	出場 件数	事故種別												搬送 人員		
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送		資器材搬送	その他
平成28年	4,537	34			273	132	54	562	10	53	2,921	449			49	4,053
平成29年	4,532	21		1	274	125	56	609	9	53	2,888	452			44	4,250
平成30年	4,898	33	6		226	41	64	689	22	51	3,288	425			53	4,262
令和元年	5,032	31	3		289	51	51	723	17	40	3,375	408			44	4,570
令和2年	4,531	30		3	202	41	16	637	5	28	3,192	358			19	4,107

曜 日 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 曜日	出場 件数	事故の種類別													
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
月	646	6		2	32	3	1	87		7	439	65			4
火	613	5			24	9	3	95		7	417	53			
水	621	1		1	27	8		72		1	457	52			2
木	668	5			31	10	3	97	1	3	463	49			6
金	671	5			37	5	3	96		3	454	65			3
土	650	4			28	3	2	100	2		461	48			2
日	662	4			23	3	4	90	2	7	501	26			2
計	4,531	30		3	202	41	16	637	5	28	3,192	358			19

時 間 別 救 急 出 場 状 況

(件)

時間 種別	出場 件数	事故の種類別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
0～2	210				2	1		31		4	155	15			2
2～4	162	1						15		1	140	3			2
4～6	176	1		1	5			19	2	2	139	6			1
6～8	348	1			26	3		41		3	266	7			1
8～10	586	1			31	6	3	86	1	4	420	33			1
10～12	572	7			23	11	4	97		2	366	61			1
12～14	489	2			18	5		69		2	313	77			3
14～16	480	2		2	25	7	5	63	1	1	308	63			3
16～18	452	4			26	5	3	67		2	301	42			2
18～20	434	4			28	1	1	65	1	1	314	17			2
20～22	366	6			13	2		51		2	270	21			1
22～24	256	1			5			33		4	200	13			
計	4,531	30		3	202	41	16	637	5	28	3,192	358			19

地区別救急出場状況

(件)

地区別 種別		出場 件数	事故種別										その他			
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
江別市		4,527	30		3	199	41	16	637	5	28	3,191	358			19
管内 訳	江別	1,668	12		3	71	22	2	231	2	11	1,165	140			9
	野幌	1,753	12			88	14	8	238	2	13	1,195	177			6
	大麻	1,106	6			40	5	6	168	1	4	831	41			4
管外		4				3						1				
計		4,531	30		3	202	41	16	637	5	28	3,192	358			19

高速自動車道救急出場状況

(件)

地区別 種別		出場 件数	事故種別										その他			
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
江 別 市		1										1				
内 訳	江 別															
	野 幌	1										1				
	大 麻															
管 外		1				1										
計		2				1						1				

年 齢 別 救 急 搬 送 人 員 調

(人)

種別 区分		事 故 種 別											計
		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他	
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転 院 搬 送 そ の 他	
新生児	生 後 28 日 未 満							1			2	2	5
乳幼児	28日以上7歳未満				4			43			73	5	125
少 年	7歳以上18歳未満				19		10	16			54	11	110
成 人	18歳以上65歳未満	3			114	42	7	101	5	28	759	96	1,157
高齢者	65 歳 以 上				50	5		435		3	1,976	241	2,710
不 明													
計		3			187	47	17	596	5	31	2,864	355	4,107

年 齢 別 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 調

(人)

程度 区分		傷 病 程 度 別					計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
新生児	生 後 28 日 未 満	1	1	2	1		5
乳幼児	28日以上7歳未満	1	1	38	81	4	125
少 年	7歳以上18歳未満		3	30	73	4	110
成 人	18歳以上65歳未満	22	104	365	616	50	1,157
高齢者	65 歳 以 上	85	321	1,330	855	119	2,710
計		109	430	1,765	1,626	177	4,107

医 療 機 関 別 傷 病 者 搬 送 状 況

(人)

種別		急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他		計	
		管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	人	人
救急告示医療機関	国 立	35	35	7	7	2	2	15	15	59	59
	公 立	658	31	28	3	101	2	83	15	870	51
	公 的	66	66			7	7	11	11	84	84
	私 的	1,896	996	142	57	452	217	315	196	2,805	1,466
	私 的 診 療 所	58	40	10		18		15	13	101	53
	計	2,713	1,168	187	67	580	228	439	250	3,919	1,713
その他の医療機関	国 立										
	公 立	2	2							2	2
	公 的										
	私 的	115	103			12	12	17	14	144	129
	私 的 診 療 所	34	5			4		4	1	42	6
	計	151	110			16	12	21	15	188	137
計	国 立	35	35	7	7	2	2	15	15	59	59
	公 立	660	33	28	3	101	2	83	15	872	53
	公 的	66	66			7	7	11	11	84	84
	私 的	2,011	1,099	142	57	464	229	332	210	2,949	1,595
	私 的 診 療 所	92	45	10		22		19	14	143	59
	計	2,864	1,278	187	67	596	240	460	265	4,107	1,850
その他の場所	臨時ヘリポート										
	そ の 他										
	計										
計		2,864	1,278	187	67	596	240	460	265	4,107	1,850

救急隊員の行った応急処置件数

(人)

種別 処置		急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計
応 急 処 置 対 象 人 員		2,862	187	587	457	4,093
止	血	18	8	47	12	85
固	定	13	69	97	29	208
人	工 呼 吸	22	2	1		25
心	マ ッ サ ー ジ	1				1
	う ち 自 動					
心	肺 蘇 生	103	4	3	14	124
	う ち 自 動	70		1	4	75
酸	素 吸 入	571	11	20	102	704
気	道 確 保	113	5	5	15	138
	経 鼻 エ ア ウ ェ イ					
	喉 頭 鏡 ・ 鉗 子					
	ラ リ ン ゲ ア ル マ ス ク 等	83	2	2	8	95
	気 管 挿 管	3				3
	う ち ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡	2				2
保	温	2,245	53	406	370	3,074
被	覆	23	46	134	29	232
在	宅 療 法 継 続	76	1	12	4	93
	点 滴 処 置					
	気 管 切 開 孔 ・ 人 工 肛 門 等 の 外 瘻	11		1		12
	上 記 以 外 の 処 置	65	1	11	4	81
除	細 動	15		1		16
静	脈 路 確 保	117	7	1	11	136
	C P A 前	37	4		2	43
	C P A 後	80	3	1	9	93
		106		5	1	112
薬	剤 投 与	96	3	1	9	109
	ア ド レ ナ リ ン	79	3	1	9	92
	エ ピ ペ ン					
	ブ ド ウ 糖 溶 液	17				17
そ の 他 の 応 急 処 置		6				6
血	圧 測 定	2,743	184	565	436	3,928
聴 診 器 に よ る 聴 取		1,392	89	128	128	1,737
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定		2,766	184	580	443	3,973
心	電 図	1,964	44	170	177	2,355
	う ち 1 2 誘 導	120		3	4	127
計		12,390	710	2,176	1,780	17,056

※ 事故種別「その他」とは、火災、自然災害、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送の事案。

応急手当普及講習会の開催状況

講習別受講者数

種 別			開 催 回 数	受 講 者 数	内 容
救命講習	普通救命講習	I	32回	791人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当（主に成人に対する方法）
		Ⅱ	3回	97人	上記講習に効果確認を加えた講習
		Ⅲ	1回	20人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当（主に小児、乳児、新生児に対する方法）
		計	36回	908人	
	上級救命講習		2回	43人	応急手当の重要性、その他応急手当救命に必要な応急手当（成人、小児、乳児、新生児に対する方法）
	救命入門コース		9回	378人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当（主に成人に対する方法、実技のみ）
一 般 救 急 講 習			7回	565人	応急手当（市民からの要請に基づく項目・時間により実施する講習）

過去年別 応急手当普及講習会実施状況

(回／人)

			平成28年 以前	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	計
普通救命講習	I	回数	1,031	49	56	48	32	1,216
		男性	11,830	738	781	694	374	14,417
		女性	13,445	610	790	635	417	15,897
		合計	25,275	1,348	1,571	1,329	791	30,314
	II	回数	132	13	16	12	3	176
		男性	1,093	142	182	176	51	1,644
		女性	811	108	180	162	46	1,307
		合計	1,904	250	362	338	97	2,951
	III	回数	16	5	5	3	1	30
		男性	28	12	6	8	1	55
		女性	230	66	70	54	19	439
		合計	258	78	76	62	20	494
	計	回数	1,179	67	77	63	36	1,422
		男性	12,951	892	969	878	426	16,116
		女性	14,486	784	1,040	851	482	17,643
		合計	27,437	1,676	2,009	1,729	908	33,759
上級救命講習		回数	32	2	1	2	2	39
		男性	244	13		16	6	279
		女性	220	38	39	40	37	374
		合計	464	51	39	56	43	653
救命入門コース		回数	42	11	25	25	9	112
		男性	409	190	494	591	184	1,868
		女性	448	228	507	551	194	1,928
		合計	857	418	1,001	1,142	378	3,796
救命講習		回数	1,253	80	103	90	47	1,573
		男性	13,604	1,095	1,463	1,485	616	18,263
		女性	15,154	1,050	1,586	1,442	713	19,945
		合計	28,758	2,145	3,049	2,927	1,329	38,208
一般救急講習		回数	760	43	44	38	7	892
		人数	35,704	1,767	1,924	1,546	565	41,506

救命講習受講者年代別内訳（一般救急講習を除く）

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
男性	492	20	20	33	36	13	2		616
女性	589	20	25	40	31	8			713
計	1,081	40	45	73	67	21	2		1,329

消 防 団 編



近隣市女性消防団員意見交換会

消 防 団 員 数 状 況

(人)

階級 区分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
団 本 部	1	3							4
中 央 分 団			1	1	1	5	13		21
野 幌 分 団			1	1	1	5	13		21
北 部 分 団			1	1	1	5	11		19
大 麻 分 団			1	1	1	5	12		20
上 江 別 分 団			1	1	1	5	15		23
東 野 幌 分 団			1	1	1	5	14		22
豊 幌 分 団			1	1	1	5	10		18
東 部 分 団			1	1	1	5	12		20
女 性 分 団			1	1	1	5	14	22	22
計	1	3	9	9	9	45	114		190
定 数	1	3	9	9	9	45	124		200

消 防 団 員 階 級 別 勤 続 年 数 状 況

(人)

階級 年数	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
5 年 未 満						1	48	4	49
5 年 ～ 9 年					2	12	42	12	56
10 年 ～ 14 年			1	3		7	9	1	20
15 年 ～ 19 年			2		2	10	9	2	23
20 年 ～ 24 年				1	2	4	1	1	8
25 年 ～ 29 年			3	1		4	2	2	10
30 年 以 上	1	3	3	4	3	7	3		24
女性団員			1	1	1	5	14	22	
計	1	3	9	9	9	45	114		190

※ 平均勤続年数 12.9年

消 防 団 員 研 修 派 遣 状 況

(人)

年度 課程	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
消防大学校 消防団長科					1				
北海道消防学校	幹部教育 指揮幹部科			1	1	1	1	1	
	基礎教育			1	1	1			
	特別教育 女性団員課程			1	1		1	1	1
	北海道消防協会 指導員研修		1			1			

消 防 団 階 級 別 年 齢 状 況

(人)

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
19 歳 以 下									
20 歳 ～ 24 歳							1		1
25 歳 ～ 29 歳							8		8
30 歳 ～ 34 歳							12		12
35 歳 ～ 39 歳						5	16		21
40 歳 ～ 44 歳				1		5	43	8	49
45 歳 ～ 49 歳			2	1	2	12	15		32
50 歳 ～ 54 歳					3	6	11	9	20
55 歳 ～ 59 歳			2	3	2	8	3	1	18
60 歳 以 上	1	3	5	4	2	9	5	4	29
女性団員			1	1	1	5	14	22	
計	1	3	9	9	9	45	114		190

※ 平均年齢 46.6歳

消 防 団 員 出 動 状 況

(人)

種別 所属	火災	風水害等 の災害	捜索	その他の 災害	演習・ 訓練	広報・ 指導	特別警戒	研修等	計
団 本 部	16					4		25	45
中 央 分 団	17				70	37		21	145
野 幌 分 団	18				76	41	15	41	191
北 部 分 団	14				52	37		18	121
大 麻 分 団	10				92	29	2	12	145
上 江 別 分 団	20				92	49		6	167
東 野 幌 分 団	13				78	65	5	10	171
豊 幌 分 団					74	56		5	135
東 部 分 団	5				73	28		21	127
女 性 分 団					5	99		96	200
計	113				612	445	22	255	1,447

消 防 の 沿 革

江別消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
明治 30			8	・江別村市街川沿・根本旅館より出火、全市街 130 余戸の内、105 戸を焼失		・江別分署が江別警察署に昇格
31	12	・公設江別消防組の創設 ・1 条 1 丁目に番屋を設置し、腕用ポンプ 1 台を設備	9	・石狩川水系各河川氾濫により全域浸水、農耕地被害甚大。江別地区の半分以上埋没		・戸長役場庁舎新築移転
33			7	・野幌停車場焼失		・江別村農会設置
34	5	・野幌に江別消防組第 2 部を増設し、腕用ポンプ 1 台を設備	9	・暴風雨により石狩川各支川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・大河原文蔵、最初の道議選に当選
37			7	・暴風雨により千歳川及び江別川氾濫		・江別市場設立
38			5	・野幌兵村共有樹林地で火災		
39		・第 1 部組頭 1 部長 1 小頭 2 消防手 35 人、第 2 部小頭 3 消防手 22 人	12	・江別橋左岸以北 10 数戸焼失し、第 2 部消防手河田庄三郎殉職する		・江別村役場庁舎新築移転
42			4	・融雪、豪雨により石狩川及び千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
44			8	・暴風雨により石狩川及び田畑の浸水流出		
大正 2			8	・暴風雨により豊平川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・榎本農場小作地開放
8			5	・融雪異常暖気により石狩川及び千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
9	3	・王子 6 番地に江別消防組第 3 部を増設し、腕用ポンプ 1 台を設備	7	・降雨により石狩川及び千歳川氾濫		・石狩大橋竣工開通
10	12	・訓練熟達により金馬簾 1 条使用認可				・野幌原始林特別天然記念物の指定をうける
11	8	・一般寄附及び町費補助により鈴木式ガソリンポンプ 2 台を購入し、第 1 部、第 3 部に常置	8	・暴風雨により石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・夕張川切替新水路着工（昭和 11 年完工）
12		・第 3 部番屋新築（14 坪 5 合）	4	・暴風雨により石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
15		・12 戸地区に私設消防組結成（江別消防組第 4 部の前身）				・石狩川の漁業に対する新規許可を停止
昭和 2	1	・私設火防溜水設置、警鐘梯子 3 か所設置				
	4	・江別火災予防組合で夜警番詰所を設置				
	3		7 9	・5 条 2 丁目で出火、15 戸焼失 ・豪雨により千歳川堤防決壊	6	・開村 50 年記念祝典挙行 ・飛鳥山公認競馬場開場
	5	・12 戸通り私設消防組を江別消防組第 4 部として編入	8	・石狩川及び千歳川堤防決壊、氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	4	・夕張鉄道の開通 ・野幌兵村義勇救護隊創設
	6		4 5	・融雪、異常低気圧により幌向川及び千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出 ・融雪、異常低気圧により石狩川及び千歳川堤防決壊、氾濫、家屋及び田畑の流出		・北海道無尽会社江別出張所設立

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 7			8	・豪雨により石狩川各支川堤防決壊、氾濫、江別市街 1.5m浸水、田畑 4.123ha 浸水		
8			5	・融雪豪雨により石狩川各支川堤防決壊、氾濫、江別地域の大半が被害を受ける		
9	7	・組頭以下 81 人、札幌市において梨本宮殿下の御臨謁を受ける ・野幌火災予防組合が夜警番詰所を設置	1 10	・旧屯田兵第 2 大隊本部建物焼失 ・6 条 7 丁目仏壇灯明から出火、13 棟 23 戸焼失		・江別太火防組合結成
10	11	・第 1 部に自動車ポンプ（フォード V8）購入配置	8	・豪雨により千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		・北海道電灯株式会社江別火力発電所設立
11	10	・陸軍特別大演習地方行幸に関し、組頭以下 31 人陛下の御親謁を受ける ・第 3 部に自動車ポンプ（フォード V8）購入配置 ・第 2 部に自動車ポンプ購入配置	4 9	・12 戸において住宅 3 棟 3 戸焼失、2 人焼死 ・豪雨により野津幌川排水氾濫		・陸軍大演習が行われ、天皇陛下野幌原始林大沢に行幸
12	10	・江別高等女学校において防護団発団式				・江別町競馬会が廃止
14	4	・消防組と防護団を統合し、警防団とする（団員 321 人）。4 部制を 4 分団制とする	3	・上江別で 4 戸 2 棟焼失、母児 2 人焼死		
15		・第 2 分団消防部に自動車ポンプ購入配置				
16	1	・規律訓練優秀賞を受ける				
18	6	・警防団に常備制を敷き、機関員を常備団員とする	4	・豪雨により幌向川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・王子製紙工場が王子航空機工場に転換
20	10	・役場内に消防常備本部設置	7 11	・豪雨により石狩川及び夕張川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・建具工場 2 棟焼失	7	・米空軍戦闘機江別上空飛来、王子航空機工場、江別発電所などに爆撃を加える
21	6	・4 分団制を 3 分団制とし団員 230 人、1 分団を 3 分団と合併中央分団、2 分団を野幌分団、4 分団を北部分団にそれぞれ改め、分団に消防部、予防部の 2 部を置く ・江別太私設消防団結成	11	・暴風雨により石狩川各支川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・王子航空機工場が北日本製紙工場になり操業開始
22	2 4 7	・本部に団員召集サイレン及び風速計設置 ・消防団令制定公布 ・警防団を消防団に改組（団員 205 人）	3 4 7	・元野幌煉瓦工場から出火、工場 1 棟、社宅 1 棟 5 戸焼失 ・融雪により石狩川及び幌向川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・機関車の煙突の飛び火により 5 棟焼失		・江別、札幌（五番館）間に中央バス、雁来経由で定期バス運行 ・江別保健所開設
23	3 10	・消防組織法の制定により自治体消防機構となる ・大麻私設消防団結成	5	・上江別で煙突の飛び火により 3 棟焼失 ・豊幌で煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失		・開基 70 周年記念祝典 ・国立札幌病院江別診療所（現江別市立病院）開設
24	4	・消防委員会設置 ・江別町火災予防条例、危険物取締条例制定	2 6 7	・角山で煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失 ・角山で取り灰の不始末により住宅 3 棟焼失 ・集中豪雨により野津幌川氾濫、道路の決壊、橋梁破壊流出、田畑浸水		・元江別の一部を緑町、一番町と改める

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 24			9	・野幌機農高等学校で火災		
昭和 25	4	・江別消防団員定員条例改正（定数 150 人）	8	・豪雨により野津幌川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・江別太の資材工場 3 棟焼失		・町政だより発刊 ・江別町野幌出張所を開設
26	4	・対雁自衛消防隊結成 ・江別太自衛消防隊結成	3 7 9	・札幌刑務所角山作業所 5 棟焼失 ・萩ヶ岡醸造製油会社から出火 18 棟焼失 ・道立野幌高等学校道教員研修所焼失 7 人焼死		・江別商工会議所設立 ・国立江別診療所、町に移管、町立病院となる（現江別市立病院）
27	2	・札幌市と消防の相互応援に関する協定の締結	11 5	・元野幌窯業工場から出火、2 棟焼失 ・3 条 3 丁目で出火、227 棟焼失、275 世帯罹災、罹災人員 1,305 人、焼損面積 6,136 坪		
28	3	・江別地区警察署と相互応援協定締結				
29	5 7 11	・全町 30 地区に自主的に火災予防組合結成 ・市制施行により江別市消防団に改称 ・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正 ・火災予防組合の結成に伴い、消防団予防部の解消と分団の消防部長制を廃止し、副分団長及び副班長制とする	4 5 9	・融雪により旧豊平川排水氾濫、家屋及び田畑の浸水流出 ・暴風により家屋全壊、半壊多数 ・台風 15 号により家屋全壊、半壊。農作物の 90%壊滅	6 7	・市民の自治組織として江別市火防衛生組合を結成する ・市制施行、江別市となる
30	1 10 12	・警察法の改正に伴い、新たに江別警察署と相互応援協定の締結 ・消防専用電話を各分団に架設 ・殉職消防組員、河田庄三郎氏の 50 回忌を成田山光雲寺において行う	4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出	8	・全道青年大会開催
31	8	・東西野幌自衛消防隊結成	2 4 5 9	・道立野幌高等学校宿舍 230 坪焼失 ・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出 ・元野幌窯業会社から出火、16 棟焼失 ・豪雨により野津幌川氾濫、田畑冠水 650ha	11	・野幌駅開設 ・上江別浄水場完成し、江別市街地の給水開始
32	5 7 10	・北部分団 30 周年記念式典 ・市役所階上において危険物講習会、試験実施 ・市水道に消火栓敷設、市内に 36 基敷設する	5 9	・上江別放火により 4 棟焼失 ・豪雨により排水、河川氾濫、家屋及び田畑の浸水 950ha	12	・公益質屋開設 ・上江別に母子寮完成
33	6	・団本部に火災専用電話敷設			4	・野幌屯田兵第 2 中隊本部、北海道有形文化財に指定
34	1 10	・出初め式における最後の登梯式を行う ・消防本部及び消防署設置	2	・道立江別高等学校で火災	5	・市内バス運行開始（江別駅前～対雁市営住宅）
35						
36	10	・消防無線電話（中短波）新設	2 7	・緑町の建設会社寮から出火、2 棟焼失、2 人焼死 ・集中豪雨により石狩川各支川氾濫、家屋及び田畑の浸水、1,000 戸		・江別駅前国道、市道中央通舗装完了
37	8	・119 番の設置	1	・美原の住宅から出火、2 棟焼失、4 人焼死	3	・交通安全都市を宣言

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 37	8	・江別太石狩河畔にて全道防災訓練実施	8	・台風 9・10 号により家屋、田畑浸水 1,135 戸、罹災者 6,487 人	10	・北海道水防訓練が行われる(石狩川・夕張川合流点) ・しょう紅熱が市内に広がる
38	4	・江別市火災予防条例の改正				
39	3	・江別市消防団条例改正 (定数 100 人)	3	・緑町アパート物置で子供の火遊びにより 4 人焼死	8 10	・道営大麻団地起工式 ・市制 10 周年記念式典
	5	・日本損害保険協会から火災保険号(ポンプ車)204 号車が寄贈される				
	10	・江別市消防創設 65 周年記念式典				
40	3	・江別市消防職員賞じゅつ金条例の制定	9	・台風 23・24 号により石狩川各支川溢水、氾濫、家屋浸水、田畑冠水		・野幌原始林の森林公園造成着工
	4	・美原自衛消防隊結成				
	7	・江別市消防団条例改正 (定数 110 人)	10	・野幌町の駅前商店街飲食店で出火、郵便局など 2 棟焼失		
		・江別市消防団大麻分団増設、4 分団制となる				
	8	・消防団に日本消防協会から竿頭綬が授与される				
41	4	・豊幌自衛消防隊結成	8	・集中豪雨により石狩川各支川溢水、家屋浸水、田畑冠水 400ha	1 6 12	・道立消防学校完成 ・下水道事業着工 ・市役所新庁舎高砂町に完成
	9	・消防署野幌出張所及び消防団野幌分団庁舎新築移転(野幌町 30 番地)				
42	8	・石狩管内水防訓練大会を篠津川で実施				
43	7	・救急車 301 号車購入、救急業務開始	5	・十勝沖地震(震度4)により家屋一部破損 58 戸	5 6	・江別市旗を制定 ・江別市開基 90 年、市制施行 15 周年記念式典
		・江別警察署と救急事態に際しての相互応援協定を締結			10 11	・新石狩大橋完成 ・野幌屯田兵村記念館完成
	10	・消防本部(署)の庁舎新築移転(高砂町 24 番地)跡地に消防署中央出張所を新設、4 出張所制となる				
		・消防本部庁舎屋上に消防監視用テレビ設置				
	11	・消防団に北海道知事から表彰旗が授与される				
	12	・消防署大麻出張所、消防団大麻分団庁舎(市出張所庁舎と併設)を新築(大麻中町 26 番地)、4 出張所制となる				
44	7	・岩見沢市・広島町と消防の相互応援に関する協定の締結	2	・異常降雪により国道 12 号交通渋滞、バス及び一般車 500 台、約 2,500 人が被害を受ける	1 11	・市民憲章制定 ・江別市火防衛生組合解散
45	4	・篠津自衛消防隊結成	3	・異常降雪により交通渋滞 388 人救出	4	・江別太の一部を東光町と改める
	12	・上江別自衛消防隊結成	4	・融雪により内水湛水、床下 63 戸、田畑浸水 300ha		・江別太火防組合解散
			5	・融雪により内水湛水、床上 27 戸、床下 48 戸、田畑浸水 1,078ha、道路冠水 10.5km		
46	3	・江別市消防団条例改正 (定数 125 人)			5 9	・重兵衛渡し渡船廃止 ・榎本公園に對雁 100 年記念碑完成
		・日野医院から救急車 302 号車が寄贈される			11	・市の花「菊」、市の木「ナナカマド」を制定
	4	・消防団上江別分団増設、5 分団制となる				
	6	・消防用無線電話(超短波)新設				
	10	・東野幌自衛消防隊結成				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 46	11	・消防署北部出張所、消防団北部分団庁舎新築移転（緑町東 2 丁目）				
	12	・消防署上江別出張所、消防団上江別分団庁舎新築（現上江別南町 1 番地 25）、5 出張所制となる				
47	4	・八幡自衛消防隊結成	9	・集中豪雨により門水湛水、床上 6 戸、畑作被害 18,2ha、床下 24 戸、道路 4 か所	12	・東野幌青少年会館完成 ・ゴミ粉碎処理工場運転開始
	6	・日本消防協会から広報車 601 号車が寄贈される				
		・南空知消防組合と消防の相互応援に関する協定の締結				
	7	・岩見沢地区消防事務組合と消防の相互応援に関する協定締結				
	10	・東光自衛消防隊結成				
48	11	・消防本部機構改革 3 課 6 係制とする				
	12	・石狩北部地区消防事務組合消防の相互応援に関する協定の締結				
	1	・江別市消防本部に救助隊設置				
	5	・野幌森林自衛消防隊結成				
	10	・日本損害保険協会から火災保険号 101 号車が寄贈される ・豊幌自治会から豊幌消防会館が寄贈される				
49	1	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正	4	・低気圧接近の影響により家屋等の全半壊、一部破損	8 10	・第 1 回市民まつり実施 ・史跡駅通の松の伐採
	10	・消防本部(署)、江別電業所及び江別警察署間に専用電話を設置				
50	10	・江別市消防団条例改正（定数 150 人） ・消防団東野幌分団を増設、新築移転（東野幌本町 7 番地）、6 分団制となる ・消防署東野幌出張所、消防団東野幌分団庁舎新築（東野幌本町 7 番地）、6 出張所制となる ・江別市火災予防条例の全部改正	8	・豪雨により石狩川決壊、湛水、各支川溢水床上 259 戸、田畑浸水 906ha ・台風 6 号により床上 241 戸、田畑冠水 1,649ha、土木被害 24 か所、死者 1 人	10 12	・野幌老人憩いの家開設 ・夜間急病診療所開設
51	3	・消防監視用テレビ廃止 ・江別市消防協力者要綱を規定 ・拝野武二氏から広報車 603 号車が寄贈される			11	・石狩大橋架替工事完成
52	3	・江別太自衛消防隊解散	6	・幸町木材店から出火、7 棟焼失	5	・米国グresham 市と姉妹都市提携 ・江別市開基 100 年
	4	・消防本部救助隊を消防署に配置替				
53	2	・消防救急指令装置導入、運用開始			7	・高知県土佐市と友好都市提携
	10	・江別消防創設 80 周年記念式典 ・真願寺に消防顕彰碑を建立				
54			10	・台風 20 号により門水湛水、床上 1 戸、床下 23 戸、田畑浸水 130ha	3 11	・大麻体育館開設 ・市街地東光通東光橋完成
55	3	・日本損害保険協会から救急車（3B 型）302 号車が寄贈される	4	・上江別で子供の火遊びにより 2 戸 1 棟焼失、5 人焼死	7 9	・江別市防災訓練が行われる ・道立総合運動公園が西野幌下学田に設置決定
	4	・織田武雄氏他から消防ポンプ自動車（CD－I 型）205 号車が寄贈される				
	7	・拝野武二氏から指令車（J－36 型）が寄贈される ・江別市火災予防条例の一部改正				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 56	8	・集中豪雨、台風 15 号の災害活動に対し、緑町第 2 自治会長から消防本部に感謝状が授与される	2 8	・東野幌で住宅 1 棟焼失、3 人焼死 ・集中豪雨により石狩川各支川溢水氾濫、全壊 4 戸、床上浸水 440 戸、田畑浸冠水 5,509ha ・台風 15 号により門水湛水、床上浸水 91 戸、田畑冠水 1,805ha	3 4	・江別市立病院江別高等看護学院閉院 ・ごみ焼却処理場運転開始
	11	・集中豪雨、台風 15 号の災害活動に対し、江別市長から消防本部に表彰状が授与される				
	12	・集中豪雨、台風 15 号の災害による防災功労として、北海道知事から消防本部に防災功労章並びに消防団に竿頭綬が授与される ・ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区から水害救助用ボートが寄贈される				
57	2	・萩ヶ岡に消防待機宿舎を建設	3	・浦河沖地震発生(震度 4)軽傷 1 人、土木被害 1,000 万円	4 8	・水道庁舎完成 ・北海道水防訓練行われる(石狩川河畔)
	3	・消防庁長官から消防本部に防災功労章並びに消防団に竿頭綬が授与される				
	8	・日本消防協会から緊急給水用ろ水器が寄贈(市水道部に配置)される				
	9	・昭和 56 年集中豪雨、台風 15 号の災害による防災功労として、内閣総理大臣から表彰状及び功労賞が授与される				
58	5	・日赤江別市地区から救命ボートが寄贈される			11	・北海道縦貫自動車道、札幌～岩見沢の 31.9 キロ開通
	10	・日本道路公団札幌建設局と救急業務に関する協定を締結 ・岩見沢地区消防事務組合と消防の相互応援に関する協定書の全部改正				
	11	・札幌市、岩見沢市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				
59	3	・消防用無線電話基地局の増設、石狩町、石狩北部地区消防事務組合及び南空知地区消防組合と消防の相互応援に関する協定書の全部改正			1 2 4 7	・江別市立病院外来新棟完成 ・勤労者研修センター完成 ・野幌若葉小学校開校 ・道立大麻高等学校開校 ・北海道水防訓練行われる(石狩川大橋左岸) ・市制施行 30 周年
	4	・消防本部(署)の機構改革、本部 3 課 6 係、消防署 7 係 6 出張所				
	11	・消防署中央出張所、消防団中央分団庁舎新築移転(3 条 1 丁目)				
60	8	・日本消防協会から電源照明用資器材搬送車 503 号車が寄贈される ・日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 103 号車が寄贈される			4	・市外局番が「011」へ変更
	10	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				
61	3	・江別市火災予防条例の一部改正	7	・見晴台で店舗兼住宅 1 棟焼失、母子 3 人焼死	4 7	・北光小学校開校 ・森林キャンプ場完成
	4	・江別市消防団条例改正(定数 175 人)	11	・文京台緑町の大学学生食堂新築工事現場で火災、焼死 2 人、負傷者 9 人	11 12	・J R 高砂駅の開業 ・保健センター完成
	5	・消防団豊幌分団増設、7 分団制となる				
	8	・仮設訓練塔 1 棟を消防訓練場に設置				
62	3	・救急自動車 302 号車を購入			4	・文京台小学校開校
63	3	・化学車 104 号車を購入	9	・東野幌町でガス爆発により住宅 1 棟 2 戸全壊、半径 130m の範囲内の 57 棟に被害	3 5	・北海道情報大学着工 ・江別市コミュニティセンター着工
	4	・消防署の機構改革 6 出張所制を 3 出張所制とする				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 63	4	・江別市消防団条例改正（定数 187 人）				
	6	・消防団副団長の 2 人制				
	9	・消防団東部分団増設、8 分団制となる				
		・消防庁舎建設準備委員会設置				
平成元	3	・消防庁舎建設委員会を設置			4	・北海道情報大学開学
	4	・江別市職員定数条例改正（定数 102 人）			8	・江別市情報図書館オープン
					9	・江別市コミュニティセンターオープン
						・第 44 回国民体育大会開催
					10	・江別市葬斎場オープン
2	4	・江別市職員定数条例改正（定数 104 人）			3	・第二大麻体育館オープン
		・消防署の機構改革、副署長制を 2 課制とする			6	・江別市情報図書館と市内中学校の情報オンライン化
	8	・アポロキャップを導入				
3	3	・札幌市、広島町、岩見沢地区（組）、石狩北部地区（組）及び南空知（組）との消防相互応援協定廃止			3	・北電江別発電所廃所
	4	・江別市職員定数条例改正（定数 105 人）			4	・江別市郷土資料館オープン
		・北海道広域消防相互応援協定締結			11	・S C C 国際交流センター完成
		・江北地区自衛消防隊結成				・人口が 10 万人を超える
	7	・消防本部庁舎着工				
	8	・女性消防団員 10 人採用				
4	4	・江別市職員定数条例改正（定数 107 人）			2	・道立食品加工研究センターオープン
		・江別市消防団条例改正（定数 192 人）			4	・ふれあいワークセンターオープン
		・機構改革により、通信指令室、救助隊を設ける				
	8	・女性消防団員 5 人採用（計 15 人）				
		・第 21 回全国消防救助技術大会出場（千葉市）				
	10	・消防本部庁舎完成				
5	2	・指揮車購入			4	・中央中学校開校
	3	・消防本部庁舎新築移転（野幌代々木町 80 番地）、緊急情報システム運用開始			7	・陶芸の里セラミックアートセンター着工
		・旭川ガス㈱から救助工作車 504 号車が寄贈される			10	・王子・神崎製紙合併、新王子製紙となる
	4	・江別市消防団条例改正（定数 197 人）				・市役所、第 2・第 4 土曜日完全閉庁開始
	8	・第 22 回全国消防救助技術大会出場（福岡市）			11	・江別市花き栽培技術指導センターオープン
	10	・災害弱者緊急通報システム稼働運用開始			12	・四季のみち完成
		・米国市長会、消防本部庁舎視察				
		・女性消防団員 7 人採用（欠員 2 人）計 20 人				
	11	・第 9 回全国婦人消防操法大会出場（横浜市）				
		・消防団副団長 3 人制				
6	2	・（社）江別市及び三郡医師会と高速自動車国道等の救急・救助活動に関する協定書締結	7	・石狩川水難事故により中学生男子 3 人水死	4	・江別市ガラス工芸館オープン
	3	・はしご付き消防自動車 502 号車（38m級）を購入			10	・市制施行 40 周年を迎える
	4	・江別市職員定数条例改正（定数 111 人）				・人口が 11 万人を超える
		・江別市消防団条例改正（定数 200 人）			12	・市役所、完全週休 2 日制スタート
						・陶芸の里セラミックアートセンターオープン

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 6	6	・第 46 回北海道消防大会開催 ・北海道広域消防相互応援協定の一部改正 ・女性消防団員 3 人採用、計 23 人 ・防火管理者連絡協議会と危険物安全協会から連絡車 606 号車が寄贈される			12	・勤労者総合福祉センターオープン
	7					
	10					
7	2	・消防ポンプ自動車(CD-II)202号車購入、中央分団配置 ・江別市職員定数条例改正(定数 113 人) ・救急救命士 2 人誕生 ・消防署大麻出張所庁舎移転新築着工 ・日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(CD-I)207号車が寄贈される ・巨大地震・災害対策海外研修視察(消防長参加) ・江別市救急業務高度化推進協議会設立			1	・訪問看護ステーションオープン
	4				4	・いきいきセンターさわまちオープン
	5				10	・屯田資料館オープン
	6				12	・人口が 11 万 5 千人を超える
	9					・野幌グリーンモール完成
	10					
	12					
8	2	・消防署大麻出張所庁舎新築移転(大麻元町 192 番地 3)、業務を開始する ・消防ポンプ自動車(CD-I)を大麻分団に配置する ・江別市職員定数条例改正(定数 115 人) ・消防団に北海道消防協会長から表彰旗並びに表彰状が授与される ・江別市消防職員委員会を設置 ・(社)日本自動車工業会から高規格救急自動車 303 号車が寄贈される	6	・森林公園で行方不明者捜索(トド山口駐車場)	2	・第 3 回石狩川サミット開催
	4				3	・野幌小学校新校舎完成
	6				7	・江別高校新校舎完成
	10				12	・第 34 回北海道障害者スポーツ大会開催
	12					・第 45 回全道身体障害者福祉大会開催 ・市情報公開条例施行
9	2	・高規格救急自動車運用開始 ・江別市職員定数条例改正(定数 118 人) ・札幌圏防災関係機関総合防災訓練に参加 ・緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に参加 ・大型水槽車 108 号車を購入			4	・(財)江別市在宅福祉サービス公社事業開始
	4					・いずみ野小学校開校
	5				10	・知的障害者の入所施設開所(えべつ朋友荘)
	7					・えぼあホール(市民文化ホール)・大麻公民館オープン
	12					・デイサービスセンターあかしやオープン
10	1	・救護活動資器材搬送手動車の愛称決定「救太くん」 ・自治体消防 50 周年記念式典参加 ・江別市職員定数条例改正(定数 121 人) ・事務改善検討委員会設立 ・北海道消防協会札幌地方支部消防総合演習 ・全国消防長会北海道支部警防・救急事務研究会 ・災害支援車 801 号車を購入 ・江別消防創設 100 年記念事業 ・携帯電話分散受信方式 119 番受信運用開始			1	・江別市農協創立 50 周年
	3				2	・痴呆性老人等支援連絡会議設立
	4					・災害時における郵便局と江別市の協力に関する協定調印
	5				4	・野幌農協創立 50 周年
	6					・岩田政勝氏に名誉市民章が贈呈される
	7				8	・土佐市友好都市 20 周年記念式典
	9				12	・人口が 12 万人を超える
	10					・江別市立病院新築
11	2	・高規格救急自動車 302 号車を購入 ・高規格救急自動車 2 台目運用開始 ・江別市職員定数条例改正(定数 125 人)	7 9	・道立大麻高等学校で火災 ・台風 18 号により 4,700 万円の被害	6	・江別市ホームページ開設
	3				8	・江別市総合防災訓練行われる
	4					

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 11	4	・機構改革、消防署の指導課を消防課に、警備課を救急救助課に改める				
	6	・北海道防災航空隊員派遣 ・119 番通報訓練装置が防火管理者連絡協議会と危険物安全協会から寄贈される				
	8	・第 28 回消防救助技術訓練大会出場(横浜市)				
	10	・第 84 回全国消防長会法制委員会開催				
	12	・水槽付消防ポンプ自動車 109 号車を購入				
	12	2	・消防団豊幌分団庁舎新築移転 ・日本消防協会から消防団に表彰旗並びに表彰状が授与される		2	・豊幌地区センターオープン
			・有珠山噴火、北海道広域消防相互応援協定により応援隊派遣述べ 62 隊 143 人		3	・資源物の分別収集開始
		3	・江別市職員定数条例改正(定数 128 人)		4	・介護保険制度スタート
			・消防本部に参事(防災担当)の職を設置		10	・野幌鉄南地区住民票等証明交付窓口開設
			・高規格救急車移動配備開始		12	・いきいきセンターわかきオープン
12		7	・北海道操法訓練大会出場(東野幌分団)			・保健センターを若草町に移転
			・江別市消防総合防災訓練			
		10	・小型動力ポンプ積載車 703 号車を江別出張所に配備			
13	1	・消防力の基準(消防庁告示第 1 号)改正			2	・J R 高砂駅新駅舎・歩道橋完成
	4	・江別市職員定数条例改正(定数 130 人)				・5 農協が合併して道央農協誕生
	9	・小型動力ポンプ積載車 705 号車を野幌出張所に配備			3	・江別市立学校給食センター完成
14					7	・新ごみ処理施設建設工事着工
						・江別市防災(水防)訓練が行われる
					8	・北海道林木育種場旧庁舎が文化庁の登録有形文化財に登録される
						・中央中学校男子バレーボール部全国大会優勝
					12	・J R 大麻駅バリアフリー化工事完成
15	6	・石狩川水防公開演習参加(長沼町)			3	・「防災あんしんマップ」全世帯に配布
					10	・江別河川防災ステーションオープン
					12	・江別市環境クリーンセンター「くるりん」が稼働を開始
15	2	・高規格救急自動車 305 号車導入			5	・特別職等の専用車廃止による多用途車両(低公害車)導入
	9	・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災に伴う北海道広域消防相互応援協定により応援隊派遣延べ 3 隊 24 人				・土佐市・江別市友好都市提携 25 周年式典
	10	・出光興産(株)北海道製油所災害予防対策支援活動に伴う北海道広域消防相互応援協定により応援隊派遣延べ 8 隊 40 人			8	・全国中学校体育大会水泳競技大会開催
	11	・全国消防長会北海道支部予防委員会開催				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 16	4	・メディカルコントロール体制を構築し、救急救命士による包括的指示下での除細動開始 ・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災活動に対し、消防庁長官から消防本部に防災功労者表彰が授与される	9	・台風18号による強風のため軽傷者5人、街路樹等の倒木1,862本、建物等の一部損壊190件、農業被害、被害総額47,245万円	3	・江別市中心市街地活性化基本計画策定 ・第5次江別市総合計画スタート ・市制施行50周年記念式典 ・防災連携消防訓練実施（東野幌本町：パルタウンのつぼろシティハウス） ・家庭ごみ収集の有料化開始 ・「江別市のレンガ」が北海道遺産に選定
	8				4	
					9	
					10	
17	4	・江別市他石狩管内の一部消防本部と基地の札幌手稲溪仁会病院間でドクターヘリ暫定共同運用開始 ・（財）日本消防協会の助成を受け、婦人防火クラブ等の民間防火組織の資器材整備のため、AED（自動体外式除細動器）一式を購入	12	・野幌松並町で住宅1棟焼失、焼死者2人	3	・市制施行50周年記念事業の一環として、「新江別市史」刊行 ・江別市地域福祉計画策定 ・江別の顔づくり事業都心地区整備基本計画策定 ・防災連携消防訓練実施（大麻沢町サンゴールドビラ） ・江別市において道内初の認知症高齢者向けグループホームの短期入所者事業利用特区で構造改革特区に認定 ・江別市の地域再生計画「ソーシャル・エンタープライズの拠点・メッカ」づくりを通じた地域活力コミュニティの再生が地域再生法に基づき認定
	12				10	
18	10	・消防顕彰碑消防本部庁舎移設に伴う工事完了 ・緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加2人 ・具体的指示下での薬剤投与が可能な救急救命士の運用開始	1	・落雪事故が多発し、死者1人	3	・江別市行政改革大綱見直し ・市民活動センターオープン ・防災連携消防訓練実施（江別市コミュニティセンター周辺） ・江別市・新篠津村合併協議会設置
	12				12	
19	6	・江別・野幌・大麻出張所の各水槽車へAED積載配備 ・PA連携本運用開始			2	・江別市・新篠津村合併協議開始 ・広域消防水難連携訓練（江別河川防災ステーション前、千歳川） ・JR野幌駅鉄道高架工事着工 ・野幌駅周辺地区活性化協議会により野幌駅周辺地区活性化計画（案）作成
					8	
					11	
20	5	・第1回石狩管内5消防本部消防広域化等実務担当者会議開催（計2回開催） ・北海道洞爺湖サミット開催に伴う消防特別警戒要員派遣（予防2人・警防10人） ・第1回石狩管内5消防本部における消防広域化並びに消防指令業務等の共同化検討委員会開催（計4回開催） ・第1回石狩管内5消防本部消防指令業務等の共同化作業部会開催（計2回開催） ・第1回石狩管内5消防本部消防広域化作業部会開催（計5回開催）		・硫化水素ガスによる事故が多発し、死者2人、負傷者3人	8	・北海道防災総合訓練実施（江別高校跡地） ・江別市・新篠津村合併協議会廃止
	7				9	
	8					
	9					

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 20	10	・石狩北部地区消防事務組合消防本部と指令業務等の共同化検討会議開催（計4回開催）				
	12	・水槽付消防ポンプ自動車107号車を購入				
	21	6・高機能消防通信指令システム実施設計委託	12	・角山建設資材置き場から出火3棟焼失	2	・市内4大学、江別商工会議所、江別市が包括連携・協力に関する協定を締結
		8・水槽付消防ポンプ自動車103号車を購入			4	・第5次江別市総合計画後期基本計画を策定
		・住宅用火災警報器設置推進本部運用開始			7	・江別市自治基本条例スタート
					9	・ねんりんピック将棋大会、江別で開催 ・江別市防災連携訓練（消防学校） ・新型インフルエンザ流行（A/H1N1型）
	22	1・災害対応特殊救急自動車301号車を購入	8	・J A道央野菜選別施設1棟焼失	8	・常陸宮妃殿下ご臨席のもと、第29回赤十字北海道大会開催
		2・有限会社トンデンファームからA E D（自動体外式除細動器）トレーニング用マネキン等が寄贈される			9	・江別市防災訓練実施（北翔大学）
		5・江別市環境整備事業組合からA E D（自動体外式除細動器）1台が寄贈される			10	・第19回国勢調査が行われ、江別市において戦後初の人口減少 ・鈴木章北大名誉教授、ノーベル化学賞受賞
		6・高機能消防指令システム（Ⅱ型）整備工事契約締結				
		12・丸山産業有限会社からA E D（自動体外式除細動器）1台が寄贈される				
	23	1・有限会社トンデンファームから連絡車として軽自動車1台が寄贈される	1	・記録的な大雪により落雪事故が続発し、死者1人	2	・鈴木章北大名誉教授へ江別市特別栄誉賞贈呈
		3・東日本大震災発生により、緊急消防援助隊北海道隊として救急隊員2人、救助工作車1台と救助隊員5人を宮城県石巻地区に派遣	8	・集中豪雨により荻ヶ岡床上浸水1戸、他市内道路冠水箇所多数発生	3	・東日本大震災発生により被災地へ職員派遣、物的支援を行う（12月まで）
		・高機能消防指令システム運用開始	12	・弥生町で住宅1棟焼失、焼死者1人	10	・第三中学校統合により江北中学校廃校 ・江別市防災連携訓練（市立上江別小学校） ・野幌鉄道高架に伴い新野幌駅開業
		4・緊急消防援助隊北海道隊として救助工作車1台と救助隊員5人を宮城県石巻地区に派遣				
		6・機構改革、消防本部に指令課を新設し、警防課に救急高度化担当（主幹及び主査）を配置 ・住宅用火災警報器完全義務化スタート				
		10・東日本大震災の緊急消防援助隊派遣により消防本部が全国消防長会から表彰を受ける				
		11・東日本大震災の緊急消防援助隊派遣により消防本部が総務大臣から表彰を受ける ・J A道央から高規格救急車303号車が寄贈される				
平成 24	7	・連絡車606号車を購入	9	・市内で自動販売機などへの放火が相次ぐ	3	・中原通（鉄西線～鉄東線）が開通
	11	・消防団東野幌分団を野幌若葉町へ新築移転	12	・大麻中町で異臭騒ぎ、住民66人が避難	6 8	・大麻3遺跡出土の土偶が道指定有形文化財に指定 ・J R野幌駅舎完成 ・江別出身の右代啓祐選手がロンドンオリンピック（陸上競技・男子十種競技）に日本代表で出場、順位は20位

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 24						
					9	・江別市防災連携訓練 (北海道消防学校)
25	3	・有限会社トンデンファームから 屋根テント 3 張と音響設備一 式が寄贈される	2	・大雪により市内小中学校が臨時 休校	3	・6 丁目通に高砂地下歩道（鉄 西線～鉄東線）が開通
	4	・江別出張所へ救急車が 24 時間 配備 ・機構改革、江別出張所に救急調 整担当（主査）を配置	3	・暴風雪により八幡地区で車両の スタックが続出	7	・土佐市との友好都市提携 35 周年を迎える
	5	・高規格救急自動車 302 号車を江 別出張所へ配置	8	・野幌町において共同住宅 1 棟部 分焼、死者 1 人	9	・江別市防災訓練（豊幌地区） ・江別市防災フェス（野幌地 区）
	10	・石狩振興局管内消防救急デジ タル無線の共同運用開始			11	・元野幌の一部を大麻泉町へ 町名変更
	12	・消防ポンプ自動車 203 号車を購 入			12	・9 丁目通に鉄道高架下道路が 開通
26	1	・江別市消防出初め式を市役所 前及び市民会館で実施	3	・向ヶ丘で住宅 1 棟全焼、死者 1 人	4	・第 6 次江別市総合計画策定
	4	・江別市消防 10 か年アクション プラン策定			7	・市政施行 60 周年
	10	・広報車 605 号車を購入 ・災害情報支援車 604 号車を購入 ・日本損害保険協会から小型動 力ポンプ積載車 701 号車が寄贈 される			8	・江別市防災訓練（北海道消防 学校）
					9	・短時間での集中的な豪雨に より浄水場の処理能力を超え 市内の約 3 分の 2 が断水
					11	・陸上十種競技アジア大会金 メダルの右代啓祐選手が市民 栄誉賞第一号に
					12	・野幌駅北口駅前広場完成
27	1	・水槽付消防ポンプ自動車 105 号 車を購入、江別出張所に配置 ・水槽付消防ポンプ自動車 109 号 車を消防署に配置	8	・台風 7 号により新栄通アンダー パス冠水	7	・平和のつどい初開催
	3	・総務省消防庁の消防団無償貸 付事業により消防ポンプ自動車 205 号車を借受ける			10	・右代啓祐選手日本選手権 6 連 覇（陸上競技・男子十種競技）
	4	・機構改革、庶務課に人材育成担 当（主査）、及び消防課に消防技 術強化担当（主査）を配置			11	・野幌駅前商業ビル完成
	6	・株式会社トンデンファームから 消防団員訓練用ヘルメット 200 個が寄贈される				・新栄団地 B 棟完成
	10	・夕張川総合水防訓練 ・消防団女性分団設立				
28	3	・救助工作車 504 号車を購入			4	・江別第一小学校開校
	4	・機構改革、江別出張所、野幌出 張所及び大麻出張所に予防担当 （主査）を配置			8	・右代啓祐選手がリオデジャ ネイロオリンピック出場
	10	・旭川ガスから子ども用防火服 20 着が寄贈される				
	12	・日本消防協会から防災活動車 が寄贈される ・小型動力ポンプ積載車 706 号車 を大麻出張所へ配置				
29	2	・化学車 104 号車を購入	6	・大麻泉町で住宅 1 棟半焼、死者 2 人	3	・株式会社龍田工務店から無人 航空機（ドローン）が寄贈 される
	3	・株式会社トンデンファームから 救助訓練用マット 1 枚、訓練 人形 1 体、災害用マンホールト イレ 3 式が寄贈される			4	・健康都市宣言 ・都市と農村の交流センター 「えみくる」オープン
	8	・有限会社北野葬儀社から心肺 蘇生キット「あっぱくんライト」 60 個が寄贈される			9	・江別市総合防災訓練実施 （江別高校跡地）
	12	・指揮車 901 号車を購入 ・高規格救急自動車 305 号車を購 入			10	・健康都市宣言記念えべつ健 康フェスタ開催 ・グレンシャム市との姉妹都市 提携 40 周年記念祝賀会開催

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 30	1	・消防ポンプ自動車 204 号車を購入	9	・台風 21 号により強風被害が発生し、軽症者 2 人、住宅被害 36 件、停電 4,698 戸、倒木 2,694 本、倒木による通行止め 10 か所 ・北海道胆振東部地震により、震度 5 強を記録。重症 1 人、中等症 1 人、軽症 3 人、市内全域停電、断水約 23,500 戸、家屋全壊 5 棟、半壊 19 棟、一部損壊 125 棟、避難所 6 か所開設（最大避難者数 519 人）	3	・角山小学校の廃校 ・複合施設「ゆめちからテラス」オープン ・土佐市友好都市提携 40 周年記念式典、祝賀会開催
	4	・機構改革により庶務課から総務課へ名称変更、総務課へ消防指令共同・広域化担当（主幹）を配置			5	
	5	・全国消防長会予防委員会開催（札幌市開催、江別市幹事）			8	
	9	・北海道広域消防相互応援協定により後方支援隊 3 人を勇払郡厚真町に派遣				
	10	・はしご付消防自動車 502 号車を購入				
令和元	31	1 小型動力ポンプ積載車 703 号車を江別出張所へ配置 4 江別市消防本部公式キャラクターが「ボーカくん」に決定される ・機構改革により予防課を消防本部に配置。消防署に管理課を新設し指令課と統合。消防課、救急課を統合し消防 1 課、消防 2 課を新設 ・北海道広域消防相互応援協定により応援隊延べ 6 隊 27 人を夕張市石炭博物館模擬坑道火災に派遣	12	・一番町で住宅 1 棟全焼、死者 1 人		
令和元	2	7 江別市学生消防サポーター発足、10 人の学生が登録 8 小型動力ポンプ積載車 705 号車を野幌出張所へ配置 3 水槽付消防ポンプ自動車 109 号車を購入し、野幌出張所に配置 7 防火管理者連絡協議会、危険物安全協会から感染防護衣 200 セットが寄贈される 10 新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により応援隊延べ 2 隊 8 人を夕張市に派遣			8	・江別市総合防災訓練実施（市立大麻小学校） ・市民交流施設「ぷらっと」オープン 2 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い北海道が独自に緊急事態宣言を発出、市内小中学校臨時休校、飲食店等に営業時間短縮要請 3 南大通大橋が開通 4 野幌駅北口に東西グリーンモールが開通
					12	

江別市消防本部公式キャラクター



ボーカくん